

平成28年度

静岡市ものづくり産業振興基本計画
に関する実施状況の報告について

経済局商工部 産業振興課

*** 目 次 ***

平成28年度静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について	1
1 経緯	1
2 基本計画の概要	1
3 実施状況等	2
(1) 8つの重点項目の実施状況	3
(2) 方針毎の実施状況	4
①方針1 企業の誘致と留置の推進	4
②方針2 新市場・販路開拓に対する支援（異業種交流支援を含む）	5
③方針3 新製品・技術開発等に対する支援	7
④方針4 中小企業の経営基盤・競争力の強化	8
⑤方針5 次代を担う多様な人材の育成	10
(3) 実施状況の総括	11
4 各事業の成果目標及び事業実績一覧表	15
5 各事業の進捗管理票	20

平成28年度静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について

静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下「基本計画」という。）の実施状況については、静岡市ものづくり産業振興条例（以下「条例」という。）第8条第7項の規定に基づき、次に掲げる事項により報告いたします。

1 経 緯

基本計画については、平成23年3月、本市のものづくり産業の振興に向けた議員提案をもとに制定された条例を根拠とし、同条第18条に規定する静岡市ものづくり産業振興審議会（以下「審議会」という。）及び関係機関との連携を図りながら、基本計画の策定に向けて取り組んできました。具体的には、平成23年9月に審議会へ基本計画策定案の検討を諮問し、その後、パブリックコメントなどを経て、平成24年7月に「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を計画目標とする基本計画を市長の定例記者会見において、公表・施行し、計画目標の達成に向けて取り組んでまいりました。その後の取り組みとしては、平成27年度以降も継続的にものづくり産業の振興を推進するために、第3次総合計画及び第2次産業振興プランとの整合性を図りながら、第2次基本計画を策定したところであります。

2 基本計画の概要

基本計画については、条例に掲げる趣旨の具現化に向けたプロセスであることから、計画目標を支える5つの方針に基づいて、全21の事業を設けるとともに、第2次基本計画より新たに8つの項目を重点項目として設定し、体系化を図ったものであります。

根 拠 法 令	静岡市ものづくり産業振興条例第8条第1項（基本計画の策定等）
計 画 期 間	平成27～30年度（4か年度）
策 定 目 的	本市ものづくり産業の総合的かつ計画的な振興を図るため
計 画 構 成 等	(1) 計画目標 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡 (2) 重点項目 ①緑地率の緩和 ②大手製造企業の傘下企業に対する支援の検討 ③中小製造事業者等を取り巻く規制事項の洗い出しと緩和の検討 ④本市の誇るべき中小製造事業者等の表彰 ⑤産業振興プラットフォームの考え方に基づく中小製造事業者支援 ⑥国や県等の補助制度の情報提供と活用モデルの提案 ⑦展示販売会等の開催による販路拡大に向けた支援 ⑧ものづくり関連の民間活動団体への支援 (3) 方 針 方針1 … 企業の誘致と留置の推進

	方針2 … 新市場・販路開拓に対する支援 方針3 … 新製品・技術開発等に対する支援 方針4 … 中小企業の経営基盤・競争力の強化 方針5 … 次代を担う多様な人材の育成 (4) 事業 各事業の成果目標及び事業実績一覧表のとおり
--	---

基本計画の実施主体については、計画目標の達成に向けた事業を実施する担当課として、経済局商工部3課（産業政策課、産業振興課、商業労政課）が基本計画の推進に取り組んでいます。

事業担当課では、方針や施策を踏まえるとともに、計画目標を達成するための成果目標のもとで、効率的かつ効果的な事業運営を推進してきたところであります。

3 実施状況等

基本計画については、前項のとおり、計画目標の達成に向けて、体系化が図られたものであるため、その実施状況にあたっては、一事業の進捗状況を注視するだけでなく、計画目標を実現させるために掲げた方針の進捗状況を捉えることで、計画全般を総合的に把握する必要があります。そのため、今回の報告では、図1のとおり、計画目標の大項目である8つの重点項目と5つの方針を基本的な枠組みと捉えるとともに、5つの方針の中に位置付けられた各事業（一定の事業内に掲載されたポイントを含めると全43項目）に関する実施状況をもとに、方針毎の実施状況を把握しています。その後、それぞれの方針に関する実施状況を総合的に判断した結果をもとに、基本計画全体の実施状況を包括的に評価しています。

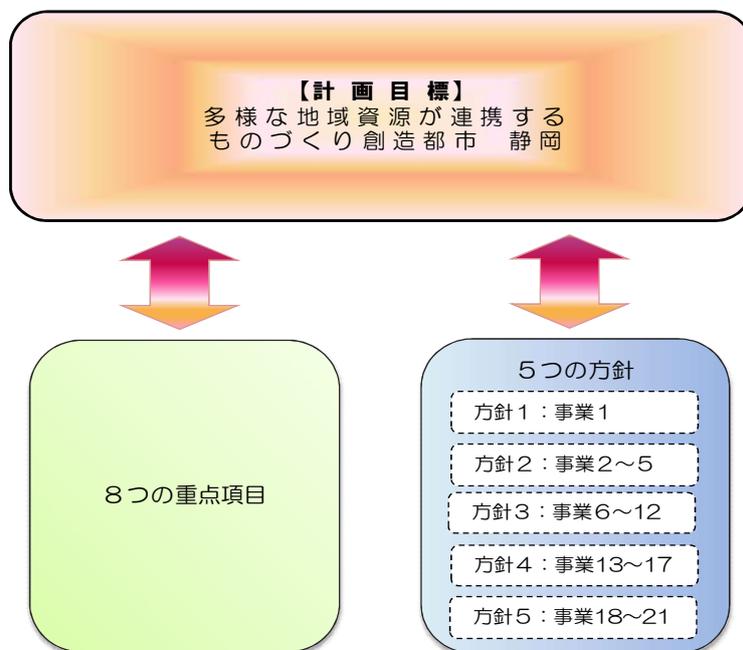


図1 基本計画体系図

各重点項目及び方針の進捗状況を把握するために、各種事業の実施結果について、表1のとおり評価しています。なお、数値目標を設けている事業につきましては、事務事業総点検表の評価基準と同様、「S」から「C」までの4段階による評価を実施し、数値目標を設けていない事業につきましては、「※」として区分しています。

事業評価	成果目標に対する達成状況等
S	成果目標を上回る事業（105%以上）
A	おおむね成果目標を達成した事業（90%以上 105%未満）
B	成果目標を下回る事業（70%以上 90%未満）
C	成果目標を顕著に下回る事業（70%未満）
※	数値目標を設けていない事業

表1 成果目標に対する各種事業の達成状況等

(1) 8つの重点項目の実施状況

重点項目においては、8項目のうち、重点項目1の「緑地率の緩和」について、「静岡市工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例」を平成27年11月に制定、平成28年4月1日に施行し、すでに目標を達成していることから、今年度は評価の対象外としております。

数値目標を設けている3つの重点項目については、表2のとおり、すべて成果目標以上の実施状況にあることから、各重点項目において、順調な事業展開のもとで推移していたと捉えております。

その中でも、重点項目4の「中小製造事業者等を取り巻く規制事項の洗い出しと緩和の検討」では、平成28年度より、本市の優れた生産技術を有する中小製造事業者を称え、表彰する「中小事業者技術表彰事業」を創設しました。これは、市内の中小製造事業者のモチベーション向上や、優れた生産技術を有する事業者の存在及びその取り組みを広く市民に周知する目的で創設したもので、平成28年度は6社を表彰し、広報や周知に努めました。

また、重点項目8の「ものづくり関連の民間活動団体への支援」では、日立清水理科クラブ（※）が企画、開催した「静岡市長杯水ロケット大会」に対し、広報や会場（IAIスタジオ）の借用、市長杯の授与等において具体的な支援を実施しました。

※市内に所在する大手製造企業OB技術者を中心に組織された団体で、科学技術の理解促進に向けて、小学生を対象に多様な工作教室を開催しています。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
(計画目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(8つの重点項目) 中小製造事業者への重点的取組			
◆ (重点項目①) 緑地率の緩和	工場立地法に基づく準則条例の制定 (緑地率の緩和条例の制定)	なし 「静岡市工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例」をH27年11月に制定、H28年4月1日に施行済み	
◆ (重点項目②) 大手製造企業の傘下企業に対する支援の検討	企業OB技術者等の現状把握及び活用方策の整理	■ 中小製造事業者に対するヒアリング調査を実施 ■ 市内企業と人材の交流会及び首都圏在住の人材掘り起こし等のためのセミナーを開催	※
◆ (重点項目③) 中小製造事業者等を取り巻く規制事項の洗い出しと緩和の検討	市内製造事業者が課題とする規制事項及び緩和要望等の把握並びに緩和実現に係る方針の検討	経済団体との懇談等を通じた規制事項のヒアリング等の実施	※
◆ (重点項目④) 本市の誇るべき中小製造事業者等の表彰	① 静岡県知事表彰及び静岡市功労者表彰への推薦 3者表彰 ② 中小製造事業者の技術表彰制度 表彰社数 5社表彰	① 表彰者数 4者 ② 表彰社数 6社	S
◆ (重点項目⑤) 産業振興プラットフォームの考えに基づく中小製造事業者支援	プロジェクト支援数 3社	プロジェクト支援数 10社	S
(重点項目⑥) 国や県等の補助制度の情報提供と活用モデルの提案	国や県等の補助制度に関する情報の整理及び製造事業者への適時適切な情報提供	国や県、その他産業支援機関等のガイドブック、ホームページ等により、情報収集を行った	※
◆ (重点項目⑦) 展示販売会等の開催による販路拡大に向けた支援	展示会等の誘致件数 1件	展示会等の誘致件数 1件	A
◆ (重点項目⑧) ものづくり関連の民間活動団体への支援	広報等による支援の実施	■ 日立清水理科クラブの会報を配架し、活動の周知を実施した。 ■ 「静岡市長杯 水ロケット大会」への支援を実施した。	※

表2 事業実績に基づく8つの重点項目の実施状況等

(2) 方針毎の実施状況

①方針1 企業の誘致と留置の推進

方針1は、表3のとおり、登載事業は事業1のみではありますが、成果目標を大きく上回る

結果となったことから、方針の進捗状況に関しても、順調に推移していたと捉えております。

年間を通して積極的な企業訪問に取り組み、企業ニーズの把握に努めるとともに、企業立地を促す助成制度に関する情報を提供し、ニーズに対するマッチングを図ったことで、新規企業立地の年間目標件数を大きく上回る 43 件の立地に成功しました。今後は工場立地の大規模投資案件の増加に向けて、業務の適正化及び効率化とともに、企業ニーズへのさらなる適応を図るため、補助制度及び交付事務手続きの見直しを行ってまいります。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
(計画目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針1) 企業の誘致と留置の推進			
(事業1) 企業立地の推進	新規企業立地件数 17件/年 ※(静岡市地域基本計画) 平成25～29年度 85件/5年	新規企業立地件数 43件	S

表3 事業実績に基づく方針1の実施状況等

②方針2 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)

方針2については、表4のとおり、数値目標を設定している8事業のうち、7事業において、成果目標以上の実施状況にあることから、方針の実施状況に関して、順調に事業を展開できたと捉えております。

その中でも、事業3-2の「ホビーのまち静岡推進事業」については、「ホビーのまち静岡」及び「静岡ホビーショー」等のPRのため、首都圏の商業施設におけるイベントを2回開催し、計4日間で約20,000人の来場客にPRを実施しました。

さらに、小田急電鉄の全車両及び全駅へのポスター掲載や、動画共有サービス「YouTube」等に「ホビーのまち静岡」プロモーション動画配信を実施し、本市のホビー関連産業を広くPRできたと考えております。今後は、各プロモーション事業の効果を検証し、次年度以降の施策に反映してまいります。

次に、事業5-1の「伝統工芸品等の展示販売会の充実化」では、ドイツのフランクフルトで開催される世界最大規模のインテリア・家庭用品関連見本市(アンビエンテ)において、静岡挽物の新規開発商品及び既存商品の展示を行い、海外バイヤー等の反応を調査しました。その際、多数の海外バイヤーからの見積もり依頼や挽物技術に関する問い合わせがあり、日本の挽物技術に対する海外での需要を確認することができました。また、ヨーロッパ内でセレクトショップを経営する日本人バイヤーも多数来場し、それらの方にも静岡挽物を効果的に訴求できたと考えております。

ただ、海外の場合、展示会出展から、契約まで結びつけるためには、単年度で成果を上げることが難しく、一般的には最低でも4年程度の継続出展が必要とされていることから、今後も海外及び国内バイヤーへ静岡挽物の魅力を印象付けるため、継続して出展していきたいと考えております。

以上のように、方針2については、前述のとおり数値目標を設定している8事業のうち、7事業において、成果目標以上の実施状況であったものの、事業4の「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」については、C評価となりました。

この項目においては、成果目標が「おおた研究・開発フェア及びおおた工業フェアの出展企業数2社」であるところ、2月に開催される「おおた工業フェア」への出展を希望する企業がなかったため、年間の出展企業数が1社に留まったことが要因であります。

今後は当該展示会に限定せず、市内中小製造事業者が持つ高い技術力を効果的にPRできるような展示会等について広く情報を集めるとともに、実際の出展についても企業のニーズに基づいて検討していきます。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)			
(事業2) 全国規模等の見本市への出展助成	全国規模展示会等への出展・開催件数 55件	補助金利用企業数 53件	A
(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化			
(事業3-1) 特産品東京展示会事業	会場売上金額 500万円	期間中の売上額 613万円	S
(事業3-2) ホビーのまち静岡推進事業	関連施設・イベント入込客数 219,000人	来場者数 257,807人	S
(事業3-3) しずおか葵プレミアム認証事業	展示即売会 11回	展示即売会数 13回	S
(事業4) 中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援	おおた研究・開発フェア及びおおた工業フェアの出展企業数 2社	出展企業数 1社	C
(事業5) 地場製品の販路開拓と販売促進			
◆ (事業5-1) 伝統工芸品等の展示販売会の充実化	各展示販売会来場者数 270,000人	各展示販売会来場者数 274,423人	A
◆ (事業5-2) 海外における地場製品の販路開拓	開発と販路等の検討	ドイツの世界最大規模の国際消費財見本市(アンビエンテ)における静岡市の工芸品(静岡挽物)の開発品及び既存商品の展示を実施	※
◆ (事業5-3) インターネットの活用による地場製品の販売促進	駿府楽市Webページ改修	なし (※H27年度に改修済み)	
◆ (事業5-4) 問屋の機能の再興に向けた検討	業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回	業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回	A
◆ (事業5-5) 地場製品販売拠点の充実化	駅駿府楽市来場者数 41.5万人	年間来場者数 41万人	A

表4 事業実績に基づく方針2の実施状況等

③方針3 新製品・技術開発等に対する支援

方針3については、表5のとおり、8事業のうち7事業において数値目標を設定しており、そのすべての事業において成果目標以上の実施状況にあることから、方針の実施状況に関して、順調な事業展開が図られたと捉えております。

事業9-1の「商品企画・開発支援プロジェクト事業」では、産学交流センターにおいて、マーケティング等の専門家を活用し、地域資源を活かしたお土産づくりを支援する「静岡おみやプロジェクト」を実施しています。平成28年度は、成果目標どおりの「商品化件数6件」を達成し、参加事業者すべてが新たな「静岡みやげ」を開発することに成功しました。

一方、事業を進める中では、参加事業者の商品化に対する意欲にバラつきが発生し、商品化までのフォローに苦労を要したため、今後は、参加事業者へのよりきめ細かな支援方法を検討していきます。

また、事業12の「職人に対する商品開発手法等の教育」については、商品開発や指導会等に専門家を招へいし、職人に対してデザインやマーケティング等の手法を学ぶ場を提供しました。平成28年度は、首都圏の美術大学（武蔵野美術大学）へ講師の派遣を依頼し、若手職人等を対象にトーク形式による指導会を実施しました。

今後は、商品開発指導からさらにステップアップし、具体的にマーケティングの手法を用いた販路開拓等を学ぶ場を提供していきたいと考えております。

その他の事業においても、すべて成果目標以上の実施状況であったことから、「新製品・技術開発等に対する支援」という方針に沿って、事業の進捗が図られたと捉えております。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援			
(事業6) 新産業開発振興機構の活用に関する検討	新産業開発振興機構との連携促進に向けた検討	■静岡商工会議所機構事務局と連携し、大学及び業界団体のマッチング可能性を調査 ■地場産業企業との協議を実施	※
(事業7) 中小企業技術開発支援事業	研究会、セミナー等参加者への支援件数 1件	支援件数 1件	A
(事業8) 若手グループの商品開発支援(ものづくり相談・支援)	講演会、指導会等の開催回数 3回	講演会、指導会等開催回数 11回	S

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援			
(事業9-1) 商品企画・開発支援プロジェクト事業	商品化件数 6件	商品化件数 6件	A
(事業9-2) 新商品・特許事業	新商品開発及び産業財産権出願等の件数 25件	新商品開発及び産業財産権出願等の件数 27件	S
(事業10) アーティストとのコラボレーション支援推進(ニューウェーブしずおか創造事業)	開発点数 20点	開発点数 41点	S
(事業11) 地域課題に係る産学共同研究への支援	産学共同研究数 6件	産学共同研究数 8件	S
◆(事業12) 職人に対する商品開発手法等の教育	職人向け指導会等開催回数 1回	職人向け指導会等開催回数 1回	A

表5 事業実績に基づく方針3の実施状況等

④方針4 中小企業の経営基盤・競争力の強化

方針4に掲げる事業については、表6のとおり、10事業のうち、数値目標が設けられているものは2事業ですが、どちらも成果目標以上の実施状況でありました。

数値目標を掲げる事業のうち、事業14の「企業OB技術者等の活用事業」については、市内及び首都圏における新現役人材等が持つ豊富な知識や経験を市内中小事業者の課題解決や新規事業等に活用することを目指し、平成28年度から新たに「人材マッチング推進事業」を創設しました。当事業では、ポリテクセンター静岡における市内の中小製造事業者と当該人材との交流会を開催したほか、首都圏在住の人材掘り起し等に向けたセミナーを開催するなど、現在喫緊の課題である人手不足解消に関する取り組みを実施しました。

今後は、交流会等の開催に加えて、中小製造事業者が市内の製造業系の人材育成・養成機関との関係を作り、直接やり取りしていけるような仕組みづくりを推進していきたいと考えております。

次に、事業16-3の「ものづくり先進都市等に関する調査研究」については、先進都市としてパナソニックが本社を置いている大阪府門真市を選定し、視察・調査研究を行いました。

門真市は、製造業の従業員数の割合が本市の2倍以上あるなど、製造業を主たる産業とするまちで、同市のものづくり企業の連携・交流を図る取組みや、企業OB等からなる中小企業サポートセンターの活動を通じた生産性向上の取組みについて、調査研究を実施しました。

今後は、当調査研究の結果について、本市における施策への反映に向けて、検討を行っていきます。

これらのことから、数値目標を掲げる2事業については、いずれも成果目標を達成しており、「中小企業の経営基盤・競争力強化」に関する方針に沿って、順調な事業展開のもとで推移できたと捉えております。

また、数値目標を設けていない事業においても、静岡商工会議所と連携した事業推進や、地場産品に関する他都市・他産地の事例の調査研究のほか、県内の大学と連携し、本市のものづくり産業について雇用の観点から業種ごとのトレンドや将来予測についての考察を実施できたため、事業の進捗が図られたと捉えております。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化			
(事業13) 国、県等に関する補助制度等の 情報提供支援	国や県等の補助制度に関する 情報の整理及び製造事業者へ の適時適切な情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ■国や県、その他産業支援機関等のガイドブック、ホームページ等により、情報収集を行った ■本市補助制度等の地域金融機関への説明会を実施 	※
(事業14) 企業OB技術者等の活用事業	企業OB技術者等の現状把握 及び活用方策の整理	<ul style="list-style-type: none"> ■中小製造事業者に対するヒアリング調査を実施 ■市内企業と人材の交流会及び首都圏在住の企業OB技術者掘り起こし等のためのセミナーを開催 	※
(事業15) 製造業部会等との連携推進	製造業部会等との連携による 各支援制度のブラッシュアップ	静岡商工会議所からの行政要望を通じた意見交換等の実施、当要望に対する検討及び回答を行った	※
(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業			
(事業16-1) 産業構造の将来動向等に関する 予測モデル構築の検討	将来動向に係る基礎データの 蓄積及び予測モデルの構築	本市のものづくり産業について、雇用の観点から業種毎のトレンドや将来予測についての考察を実施	※
(事業16-2) 地域間競争に臨む戦略的方策の 検討	地域間競争に打ち勝つための 戦略的方策の検討	第2次ものづくり産業振興基本計画に搭載された全42事業のうち、23事業において当初の目標以上の進捗状況を達成することができた。	※
(事業16-3) ものづくり先進都市等に関する 調査研究	先進視察都市数 1件	調査都市数 1都市(門真市)	A
◆(事業16-4) エネルギー需要状況等に関する 調査研究	現在のエネルギー需要の把握 及び今後のエネルギー確保に 向けた方策の整理	<ul style="list-style-type: none"> ■冷熱利用についてのヒアリング調査を実施 ■市内企業の自家発電の現状把握方法の検討 	※

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
(事業17) 地場産品に関する調査事業			
◆ (事業17-1) 地場産品の市場及び商品分析等に関する調査	首都圏等における調査実施回数 2回	首都圏等における調査実施回数 3回	S
◆ (事業17-2) 伝統工芸品に関する代替素材の調査研究	他都市、他産地の事例を調査研究	■漆器、下駄、竹分野等分野における原材料の実態の調査及び業界団体と意見交換を実施。 ■竹素材の素材研究の実施	※
◆ (事業17-3) 職人及び業界への支援の在り方に関する調査研究	他都市、他産地の事例を調査研究	他産地の調査研究の実施	※

表6 事業実績に基づく方針4の実施状況等

⑤方針5 次代を担う多様な人材の育成

方針5では、表7のとおり、数値目標を設定している4事業について、そのすべての事業において成果目標以上の実施状況にあることから、方針の進捗状況に関して、順調に事業展開できたものと捉えております。

事業19-2の「職人育成事業(クラフトマンサポート事業)」では、地場産業界の後継者の確保及び育成、新規就業者の支援を目的に、①3ヶ月の短期支援者、②2年の長期支援者、③独立支援者の3つの形態で支援を実施しました。平成28年度の実績として、②長期支援者数、③独立支援者数においては成果目標を上回る人数を支援することができたものの、①短期支援者数については目標を下回る支援者数となりました。当初は成果目標どおりの2名の受け入れを見込んでいましたが、支援者側の事情により実習を受けることができなくなり、1名の受け入れという実績となりました。

今後は、短期支援における新規受け入れの強化を行うとともに、長期支援において技術を習得した者が伝統工芸分野に定着できるよう、予算を拡充し、従前の独立支援に加え、雇用奨励金を創設していきます。

また、事業21の「ものづくり体験・学習機会の提供」では、駿府匠宿体験学習利用児童数について、概ね目標を達成することができました。

当事業については、対象となる市内の小学4年生の児童数が減少傾向にあり、利用者確保が難しくなっているという背景はありますが、竹組合が実施している体験事業の共同PRの実施や、申し込みのない小学校に対する追加のアプローチなど、今後も引き続き利用率向上に向けた施策を展開し、より多くの子ども達に対し、ものづくりに対する関心や理解を深めるきっかけを提供していきたいと考えております。

こういったことから、方針5の進捗状況については、成果目標以上の実施状況であったため、ものづくり産業の人材育成という方針のもとで、事業の進捗が図られたと捉えております。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針5) 次代を担う多様な人材の育成			
(事業18) 理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討	設置学科等に関する地元産業界におけるニーズを把握する	地元製造業者に対する静岡大学工学部等のシーズ説明会の開催	※
(事業19) 職人の育成事業(市と伝統工芸業界の連携事業)			
(事業19-1) 若手後継者の技術習得支援(伝統工芸技術保存講習会の開催)	受講生 30人以上 (漆器、蒔絵、木工、竹工芸、拭漆の5部門に関する講座)	受講者数 39人	S
(事業19-2) 職人育成事業(クラフトマンサポート事業)	制度活用者数 短期支援2人、長期支援2人、独立支援1人 (各人数は延べ)	短期支援 1人 長期支援 4人 独立支援 2人	S
(事業19-3) 若手職人の大学進学支援の検討	他都市、他産地の事例を調査研究	■業界ニーズの確認 ■首都圏美術大学教授による指導会の実施	※
(事業20) 高校生のインターンシップ事業	実施生徒数 50人	実施生徒数 81人	S
(事業21) ものづくり体験・学習機会の提供	駿府匠宿体験学習利用児童数 3,600人	駿府匠宿体験学習利用児童数 3,275人	A

表7 事業実績に基づく方針5の実施状況等

(3) 基本計画実施状況の総括

基本計画の実施状況に関しては、計画目標を支える重要な方針レベルにおいて、表8及び表9のとおり、重点項目及び5つの方針で概ね進捗が図られているとともに、評価区分別に見ても、成果目標を上回る達成状況であったことを示すS(13事業)及び成果目標をおおむね達成したことを示すA(11事業)に該当する事業が、全体の58.5%を占める結果となっています。その中でも、成果目標を設けた事業だけを見た場合には、おおむね目標達成以上となる割合(S+A)が96.0%を占めていることから、基本計画全体としては、十分に進捗が図られていると捉えております。

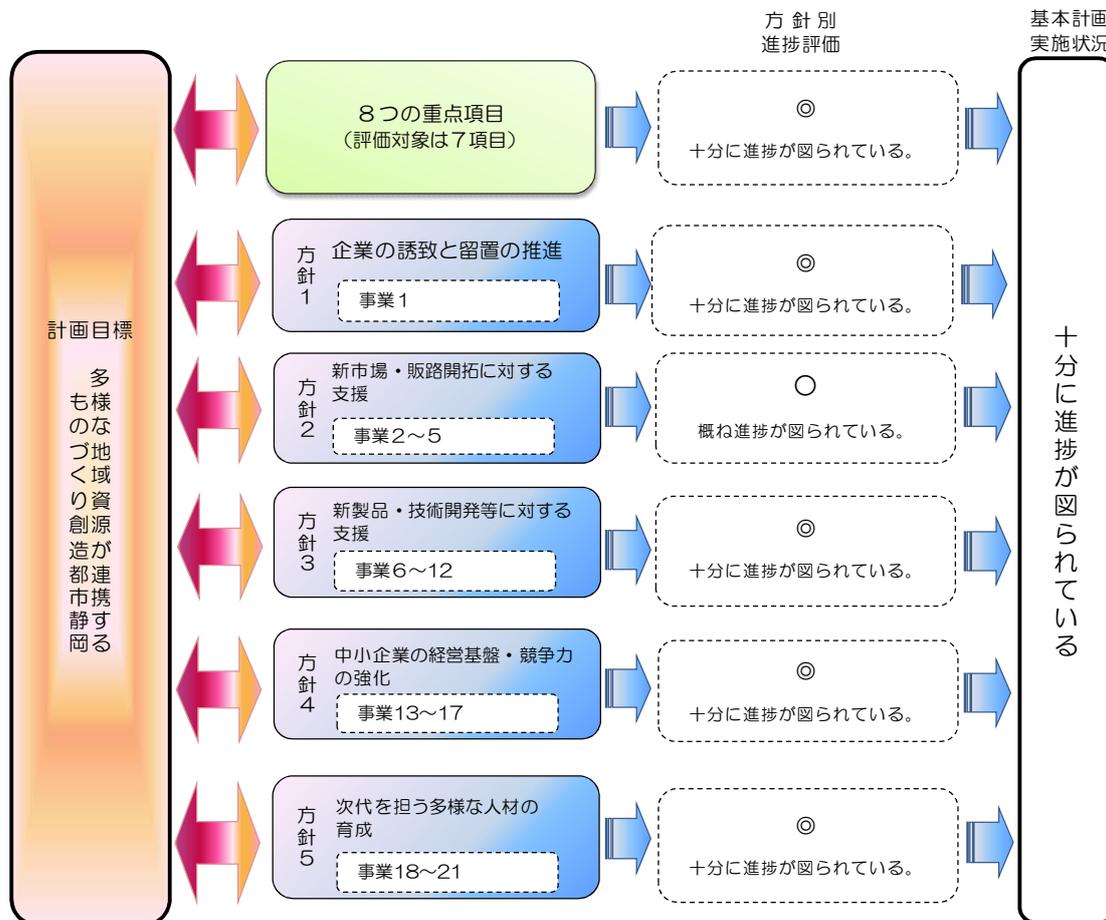
方針	事業評価	該当事業数	方針における各事業評価の割合	数値目標有の事業数に対する「成果目標以上(S+A)」を達成した割合	方針別実施状況の評価(※)
重点項目 (7項目)	S	2	67%	100%	◎
	A	1	33%		
	B	0	—		
	C	0	—		
	※	4			
	小計	7	100%		
方針1 (1事業)	S	1	100%	100%	◎
	A	0	—		
	B	0	—		
	C	0	—		
	※	0			
	小計	1	100%		
方針2 (9事業)	S	3	38%	88%	○
	A	4	50%		
	B	0	—		
	C	1	12%		
	※	1			
	小計	9	100%		
方針3 (8事業)	S	4	57%	100%	◎
	A	3	43%		
	B	0	—		
	C	0	—		
	※	1			
	小計	8	100%		
方針4 (10事業)	S	1	50%	100%	◎
	A	1	50%		
	B	0	—		
	C	0	—		
	※	8			
	小計	10	100%		
方針5 (6事業)	S	3	75%	100%	◎
	A	1	25%		
	B	0	—		
	C	0	—		
	※	2			
	小計	6	100%		
※ 方針別実施状況の評価	S+Aの割合が ■90%以上100%以下 : ◎ ■70%以上90%未満 : ○ ■50%以上70%未満 : △ ■50%未満 : ×				

表8 方針別実施状況の評価

評価区分	該当事業数	全事業数に対する事業評価別の割合	数値目標有の事業数に対する「成果目標以上(S+A)」を達成した割合
S	14	56%	96.0%
A	10	40%	
B	0	—	
C	1	4%	
※	16		
小計	41	100%	

表9 評価区分別の事業数の割合等

これらのことから、基本計画全般にあつては、図2のとおり、計画目標の「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」に向けて、各種の事業成果を創出しながら、順調かつ着実に実施されている状況にあります。今後も、個々の事業が静岡市のものづくり産業の振興に向けて、より効果的な事業となるよう検討を進めてまいります。



(報告書添付資料)

■各事業の成果目標及び

事業実績一覧表 (P16~19)

■各事業進捗管理票 (P20~57)

4 各事業の成果目標及び事業実績一覧表

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
(計画目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(8つの重点項目) 中小製造事業者への重点的取組			
◆ (重点項目①) 緑地率の緩和	工場立地法に基づく準則条例の制定 (緑地率の緩和条例の制定)	なし 「静岡市工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例」をH27年11月に制定、H28年4月1日に施行済み	
◆ (重点項目②) 大手製造企業の傘下企業に対する支援の検討	企業OB技術者等の現状把握及び活用方策の整理	■中小製造事業者に対するヒアリング調査を実施 ■市内企業と人材の交流会及び首都圏在住の人材掘り起こし等のためのセミナーを開催	※
◆ (重点項目③) 中小製造事業者等を取り巻く規制事項の洗い出しと緩和の検討	市内製造事業者が課題とする規制事項及び緩和要望等の把握並びに緩和実現に係る方針の検討	経済団体との懇談等を通じた規制事項のヒアリング等の実施	※
◆ (重点項目④) 本市の誇るべき中小製造事業者等の表彰	①静岡県知事表彰及び静岡市功労者表彰への推薦 3者表彰 ②中小製造事業者の技術表彰制度 表彰社数 5社表彰	①表彰者数 4者 ②表彰社数 6社	S
◆ (重点項目⑤) 産業振興プラットフォームの考え方に基づく中小製造事業者支援	プロジェクト支援数 3社	プロジェクト支援数 10社	S
(重点項目⑥) 国や県等の補助制度の情報提供と活用モデルの提案	国や県等の補助制度に関する情報の整理及び製造事業者への適時適切な情報提供	国や県、その他産業支援機関等のガイドブック、ホームページ等により、情報収集を行った	※
◆ (重点項目⑦) 展示販売会等の開催による販路拡大に向けた支援	展示会等の誘致件数 1件	展示会等の誘致件数 1件	A
◆ (重点項目⑧) ものづくり関連の民間活動団体への支援	広報等による支援の実施	■日立清水理科クラブの会報を配架し、活動の周知を実施した。 ■「静岡市長杯 水ロケット大会」への支援を実施した。	※
(方針1) 企業の誘致と留置の推進			
(事業1) 企業立地の推進	新規企業立地件数 17件/年 ※(静岡市地域基本計画) 平成25～29年度 85件/5年	新規企業立地件数 43件	S

注) ◆印は基本計画の策定に伴い新たに登載された事業を示しています。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)			
(事業2) 全国規模等の見本市への出展助成	全国規模展示会等への出展・開催件数 55件	補助金利用企業数 53件	A
(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化			
(事業3-1) 特産品東京展示会事業	会場売上金額 500万円	期間中の売上額 613万円	S
(事業3-2) ホビーのまち静岡推進事業	関連施設・イベント入込客数 219,000人	来場者数 257,807人	S
(事業3-3) しずおか葵プレミアム認証事業	展示即売会 11回	展示即売会数 13回	S
(事業4) 中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援	おおた研究・開発フェア及びおおた工業フェアの出展企業数 2社	出展企業数 1社	C
(事業5) 地場産品の販路開拓と販売促進			
◆(事業5-1) 伝統工芸品等の展示販売会の充実化	各展示販売会来場者数 270,000人	各展示販売会来場者数 274,423人	A
◆(事業5-2) 海外における地場産品の販路開拓	開発と販路等の検討	ドイツの世界最大規模の国際消費財見本市(アンビエンテ)における静岡市の工芸品(静岡挽物)の開発品及び既存商品の展示を実施	※
◆(事業5-3) インターネットの活用による地場産品の販売促進	駿府楽市Webページ改修	なし (※H27年度に改修済み)	
◆(事業5-4) 問屋的機能の再興に向けた検討	業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回	業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回	A
◆(事業5-5) 地場産品販売拠点の充実化	駅駿府楽市来場者数 41.5万人	年間来場者数 41万人	A
(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援			
(事業6) 新産業開発振興機構の活用に関する検討	新産業開発振興機構との連携促進に向けた検討	■静岡商工会議所機構事務局と連携し、大学及び業界団体のマッチング可能性を調査 ■地場産業企業との協議を実施	※
(事業7) 中小企業技術開発支援事業	研究会、セミナー等参加者への支援件数 1件	支援件数 1件	A
(事業8) 若手グループの商品開発支援(ものづくり相談・支援)	講演会、指導会等の開催回数 3回	講演会、指導会等開催回数 11回	S

注) ◆印は基本計画の策定に伴い新たに掲載された事業を示しています。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援			
(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援			
(事業9-1) 商品企画・開発支援プロジェクト事業	商品化件数 6件	商品化件数 6件	A
(事業9-2) 新商品・特許事業	新商品開発及び産業財産権出願等の件数 25件	新商品開発及び産業財産権出願等の件数 27件	S
(事業10) アーティストとのコラボレーション支援推進(ニューウェーブしずおか創造事業)	開発点数 20点	開発点数 41点	S
(事業11) 地域課題に係る産学共同研究への支援	産学共同研究数 6件	産学共同研究数 8件	S
◆(事業12) 職人に対する商品開発手法等の教育	職人向け指導会等開催回数 1回	職人向け指導会等開催回数 1回	A
(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化			
(事業13) 国、県等に関する補助制度等の情報提供支援	国や県等の補助制度に関する情報の整理及び製造事業者への適時適切な情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ■国や県、その他産業支援機関等のガイドブック、ホームページ等により、情報収集を行った ■本市補助制度等の地域金融機関への説明会を実施 	※
(事業14) 企業OB技術者等の活用事業	企業OB技術者等の現状把握及び活用方策の整理	<ul style="list-style-type: none"> ■中小製造事業者に対するヒアリング調査を実施 ■市内企業と人材の交流会及び首都圏在住の企業OB技術者掘り起こし等のためのセミナーを開催 	※
(事業15) 製造業部会等との連携推進	製造業部会等との連携による各支援制度のブラッシュアップ	静岡商工会議所からの行政要望を通じた意見交換等の実施、当要望に対する検討及び回答を行った	※
(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業			
(事業16-1) 産業構造の将来動向等に関する予測モデル構築の検討	将来動向に係る基礎データの蓄積及び予測モデルの構築	本市のものづくり産業について、雇用の観点から業種毎のトレンドや将来予測についての考察を実施	※
(事業16-2) 地域間競争に臨む戦略的方策の検討	地域間競争に打ち勝つための戦略的方策の検討	第2次ものづくり産業振興基本計画に記載された全42事業のうち、23事業において当初の目標以上の進捗状況を達成することができた。	※
(事業16-3) ものづくり先進都市等に関する調査研究	先進視察都市数 1件	調査都市数 1都市(門真市)	A

注) ◆印は基本計画の策定に伴い新たに搭載された事業を示しています。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化			
(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業			
◆ (事業16-4) エネルギー需要状況等に関する調査研究	現在のエネルギー需要の把握及び今後のエネルギー確保に向けた方策の整理	■冷熱利用についてのヒアリング調査を実施 ■市内企業の自家発電の現状把握方法の検討	※
(事業17) 地場産品に関する調査事業			
◆ (事業17-1) 地場産品の市場及び商品分析等に関する調査	首都圏等における調査実施回数 2回	首都圏等における調査実施回数 3回	S
◆ (事業17-2) 伝統工芸品に関する代替素材の調査研究	他都市、他産地の事例を調査研究	■漆器、下駄、竹分野等分野における原材料の実態の調査及び業界団体と意見交換を実施。 ■竹素材の素材研究の実施	※
◆ (事業17-3) 職人及び業界への支援の在り方に関する調査研究	他都市、他産地の事例を調査研究	他産地の調査研究の実施	※
(方針5) 次代を担う多様な人材の育成			
(事業18) 理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討	設置学科等に関する地元産業界におけるニーズを把握する	地元製造業者に対する静岡大学工学部等のシーズ説明会の開催	※
(事業19) 職人の育成事業(市と伝統工芸業界の連携事業)			
(事業19-1) 若手後継者の技術習得支援(伝統工芸技術保存講習会の開催)	受講生 30人以上 (漆器、蒔絵、木工、竹工芸、拭漆の5部門に関する講座)	受講者数 39人	S
(事業19-2) 職人育成事業(クラフトマンサポート事業)	制度活用者数 短期支援2人、長期支援2人、独立支援1人 (各人数は延べ)	短期支援 1人 長期支援 4人 独立支援 2人	S
(事業19-3) 若手職人の大学進学支援の検討	他都市、他産地の事例を調査研究	■業界ニーズの確認 ■首都圏美術大学教授による指導会の実施	※
(事業20) 高校生のインターンシップ事業	実施生徒数 50人	実施生徒数 81人	S
(事業21) ものづくり体験・学習機会の提供	駿府匠宿体験学習利用児童数 3,600人	駿府匠宿体験学習利用児童数 3,275人	A

注) ◆印は基本計画の策定に伴い新たに登録された事業を示しています。

5 各事業の進捗管理票

ものづくり基本計画		重点項目		平成28年度	
事業名	②大手製造企業の傘下企業に対する支援の検討		予算額		763千円
			決算見込額		669千円
事業概要	<p>本市には、エアコン等の電気機械器具製造業をはじめ、自動車フェンダーミラー等の輸送機器製造業など大手製造企業が立地しているとともに、それに関連する傘下の中小製造事業者が多数操業しています。</p> <p>こうした中小製造事業者は、製造品出荷額等の統計結果からも本市ものづくり産業への貢献が非常に大きいことから、事業活動の課題等を伺うとともに、課題の解決に向けた支援策の検討に取り組んでいきます。</p> <p>具体的には、そうした中小製造事業者が抱える課題の解決に向けて、市内及び首都圏等の優れたOB人材（エンジニア等）と中小製造事業者のマッチングを図っていきます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■課題を有する中小製造事業者に対するヒアリング調査の実施</p> <p>技術的な課題等を有する中小製造事業者の掘り起こしを地元信用金庫と進めるとともに、課題内容等の詳細を把握するため、それら事業者に対するヒアリング調査を実施した。</p>
			補足事項	進捗率等	H28.9.1 現在
				H29.3.31 現在	(%)
成果目標	企業OB技術者の現状把握及び活用方策の整理		事業結果		<p>■課題を有する中小製造事業者に対するヒアリング調査の実施</p> <p>技術的な課題等を有する中小製造事業者の掘り起こしを地元信用金庫と進めるとともに、課題内容等の詳細を把握するため、それら事業者に対するヒアリング調査を実施した。</p> <p>実施の結果、各種課題のうち、特に人手不足に対する対応が特に求められていることが判明した。</p> <p>■市内企業と人材の交流会の開催</p> <p>平成29年3月、ポリテクセンター静岡において、市内の中小製造事業者と人材の交流会を開催し、53件の面談が行われ、3社3名のマッチングが実現した。</p> <p>■首都圏在住の人材掘り起こし等のためのセミナーの開催</p> <p>首都圏在住の企業OB技術者等の掘り起こし及び静岡への関心度合の把握等のため、平成29年3月、東京でセミナーを2回開催した。</p>
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			
	大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります。			
	中施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出			
産業振興プラン位置付け	基本方向	人材の育成・確保	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■人手不足解消に向けた対応</p> <p>中小製造事業者の喫緊の課題である人手不足の解消に向け、「市内企業と人材の交流会の開催」は引き続き必要であるが、スピーディーな対応をするため、交流会の開催だけではなく、中小製造事業者が直接、市内の製造業系の人材育成・養成機関との関係を作り、直接やり取りする仕組みづくりが必要である。</p> <p>■市内及び首都圏の企業OB技術者等と企業とのマッチング会の開催</p> <p>平成28年度の事業を受け、平成29年度は市内及び首都圏の企業OB技術者等と企業との間のマッチング会を開催し、具体的な技術的課題等の解決に向けた事業を実施したいと考えている。</p>
	基本方針	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります。			
	基本施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)		

ものづくり基本計画		重点項目		平成28年度				
重 点 項 目 ③	事業名	③中小製造事業者等を取り巻く規制事項の洗い出しと緩和の検討		予算額	0千円			
				決算見込額	0千円			
	事業概要	<p>中小製造事業者にとって多くの規制事項は、事業展開のスピードを鈍らせ、他事業者との競争力などを低下させています。 こうした状況の改善については、規制事項の洗い出しとともに、緩和に向けて関係機関と協議していきます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■規制事項の洗い出しに向けての検討 経済団体との懇談や企業訪問等を通じて規制事項の洗い出しを行うため、ヒアリング事項等について検討する。</p>		
					進捗率等		H28.9.1 現在	
							H29.3.31 現在	
	成果目標	市内製造事業者が課題とする規制事項及び緩和要望等の把握並びに緩和実現に係る方針の検討		事業評価	事業結果	<p>■経済団体との懇談等を通じた規制事項のヒアリング等の実施 経済団体との懇談・要望や企業訪問等を通じた規制事項のヒアリングを実施した。 ・静岡商工会議所からの要望 ・静岡経済同友会からの提言 ・企業訪問を通じたヒアリング</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
	産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■ヒアリング先業種の拡大と規制緩和に向けての課題の整理等の実施 特定の業種に留まることなく、幅広く、様々な業種について更なるヒアリングを実施するとともに、関係機関との具体的な協議に向け、ヒアリングにて抽出された課題の整理を行っていく。 更には、協議可能なものについては協議に着手する。</p>			
基本方針								
基本施策								
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)					

ものづくり基本計画		重点項目		平成28年度	
事業名	④本市の誇るべき中小製造事業者等の表彰	予算額		650千円	
		決算見込額		635千円	
事業概要	<p>本市には、高いシェアを誇る製品の生産に加え、優れた生産技術を有する中小製造事業者があります。今後は、条例の表彰規程のもとで、こうした事業者を大いに称え、次代のものづくり産業を担う方々に広く周知を図っていきます。</p>	取組状況	H28.9.1現在	<p>①静岡県知事表彰及び静岡市功労者表彰への推薦 静岡県知事表彰の産業開発振興功労、また静岡市功労者表彰の産業功労において中小製造事業に携わる方の推薦を実施。 (推薦者数) ・県知事表彰 2者 ・市功労者表彰 2者</p> <p>②中小製造事業者の技術表彰制度の実施 本市には、優れた生産技術を有する中小製造事業者が数多くあることから、こうした事業者を称え、表彰する制度を実施する。</p>	
			補足事項	進捗率等	H28.9.1現在
			H29.3.31現在	<p>①(表彰者数) 4者 ① 133.3(%) ②(表彰社数) 6社 ② 120.0(%)</p>	
成果目標	<p>①静岡県知事表彰及び静岡市功労者表彰への推薦 3者表彰 ②中小製造事業者の技術表彰制度 表彰社数 5社表彰</p>		事業結果	<p>①静岡県知事表彰及び静岡市功労者表彰への推薦 静岡県知事表彰の産業開発振興功労、また静岡市功労者表彰の産業功労において中小製造事業に携わる方の表彰を実施。 (推薦者数) ・県知事表彰 2者 ・市功労者表彰 2者</p> <p>②中小製造事業者の技術表彰制度の実施 本市には、優れた生産技術を有する中小製造事業者が数多くあることから、こうした事業者を称え、表彰する制度を創設し、表彰を実施した。 (表彰社数)・6社</p>	
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価	
	大施策				
	中施策		価		
産業振興プラン位置付け	基本方向			<p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p>	<p>■商工部内の他の表彰制度との連携 商工部における企業に対する表彰制度としては、本表彰制度のほか「CSRパートナー企業表彰」「女性の活躍応援事業所表彰」があり、それぞれが異なる時期に募集及び表彰を行っていることから、広報や表彰式等を連携し、一緒に行うことで、より効果的な広報や周知を目指していく。</p>
	基本方針				
	基本施策				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)		

ものづくり基本計画		重点項目		平成28年度	
事業名	⑤産業振興プラットフォームの考え方に基づく中小製造事業者支援		予算額		0千円
			決算見込額		0千円
事業概要	<p>第2次静岡市産業振興プランには、中小製造事業者を多角的に支援する考え方として、産業振興プラットフォームが示されています。</p> <p>今後は、このような考え方をもとに、中小製造事業者の抱える課題等への対応を図る支援を推し進めていきます。</p>		取組状況	H28.9.1現在	<p>■企業情報の収集</p> <p>プラットフォームによる支援を実施するため、企業相談・企業訪問等を通じた企業情報の収集（シーズの発掘）の実施。</p>
				進捗率等	<p>H28.9.1現在</p> <p>H29.3.31現在</p>
成果目標	プロジェクト支援数 3件/年		事業評価	<p>■産業支援機関連携会議の実施</p> <p>市産学交流センターをはじめとした、市内産業支援機関及び関係課により、支援機関同士の情報共有及び個別支援案件の協議等を行うための会議を実施。</p> <p>■支援の実施</p> <p>市産学交流センター、大学、商工会議所等の産業支援機関のうち複数関わった支援は10社となっている。</p>	
⑤ 総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			
	大施策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
	中施策	戦略産業の育成・集約を推進			
産業振興プラン位置付け	基本方向	戦略産業振興プラットフォーム	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■産業支援機関連携会議の定例的な実施</p> <p>産業支援機関連携会議について、定例的に実施し、情報共有及び個別支援案件の協議について具体的に進めていく。</p>	
	基本方針	戦略産業振興プラットフォームによる支援			
	基本施策				
担当課等	<p>経済局商工部</p> <p>産業政策課 新産業係</p> <p>産業振興課 工業振興係</p>		その他(特記事項)		

ものづくり基本計画		重点項目		平成28年度	
事業名	⑥国や県等の補助制度の情報提供と活用モデルの提案	予算額		0千円	
		決算見込額		0千円	
事業概要	<p>中小製造事業者が事業の展開を図る上で、補助制度の活用は有効な手段の一つであります。</p> <p>そうした中小製造事業者の取組を支援するため、国や県等の補助制度に関する情報の提供をはじめ、実際に活用した事業者をモデルケースとして取りまとめ、円滑な利活用が図れるような提案を行っていきます。</p>		取組状況	H28.9.1現在	<p>■国や県等の補助制度に関する情報の収集</p> <p>国や県、その他産業支援機関等の発行する施策利用ガイドブック及びホームページ掲載情報等により、補助制度に関する情報収集を実施することとした。</p>
	補足事項	進捗率等		H28.9.1現在	(%)
			H29.3.31現在	(%)	
成果目標	国や県等の補助制度に関する情報の整理及び製造事業者への適時適切な情報提供		事業評価	事業結果	<p>■国や県等の補助制度に関する情報収集の実施</p> <p>国や県、その他産業支援機関等の発行する施策利用ガイドブック及びホームページ掲載情報等により、補助制度に関する情報収集を行った。</p>
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
	大施策				
	中施策				
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点</p> <p>・</p> <p>目標の未達成理由等</p>	<p>■情報提供方法の検討及び提供の実施</p> <p>情報収集後の中小製造事業者への効果的な情報提供方法及び収集情報をどのような形で取りまとめ、提供することがより分かりやすいか等の観点の検討がなされていないため、収集情報の提供に向け、検討・改善に取り組んでいく。</p>	
	基本方針				
	基本施策				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)		

ものづくり基本計画		重点項目		平成28年度			
重点項目	事業名	⑦展示販売会等の開催による販路拡大に向けた支援		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>中小製造事業者の販路拡大については、展示場面積で全国10位の規模を有する公益財団法人静岡産業振興協会のツインメッセ静岡を会場として、展示販売会や商談会等の開催を進めていきます。</p>		取組状況	H28.9.1現在	<p>■中部横断自動車道開通に伴う山梨県内企業との交流促進 静岡に販路拡大を目指す企業・団体に向け、(公財)静岡産業振興協会による「ツインメッセ静岡及び市内観光施設の見学会」を平成28年11月に開催予定。</p> <p>■利用促進に向けた協議の実施 2020年オリンピック・パラリンピック開催時の催事誘致を積極的に推し進めるため、グランシップ(公財)静岡県文化財団)との間で協議を実施。</p>	
					進捗率等	H28.9.1現在	0(%)
						H29.3.31現在	展示会等の誘致件数 1件 100(%)
	成果目標	展示会等の誘致件数 1件/年		事業評価	事業結果	<p>■中部横断自動車道開通に伴う山梨県内企業との交流促進事業の実施 静岡に販路拡大を目指す企業・団体に向け、(公財)静岡産業振興協会による「ツインメッセ静岡及び市内観光施設の見学会」を開催。 ・開催日：平成28年11月26日 ・参加企業数及び人数：10社、16人</p> <p>■利用促進に向けた協定締結 2020年オリンピック・パラリンピック開催時の催事誘致を積極的に推し進めるため、平成28年12月、グランシップ(公財)静岡県文化財団)との間で「大規模コンベンションの共同誘致に関する協定」を締結。</p> <p>■展示会等の誘致件数 1件</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流				
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		中施策	新市場・販路開拓に対する支援				
	産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■次年度以降も継続して山梨県内企業との交流促進を図る。</p> <p>■現在実施している誘致活動に加えて今後は、市内中小製造事業所の振興に繋がるような効果的な展示会や商談会等に向け、ターゲットを絞った誘致活動を検討していく。</p> <p>■また、これらの事業・活動において、市と(公財)静岡産業振興協会の連携を深めていく。</p> <p>■展示会等の開催については、誘致による開催だけでなく、主催事業としての開催も含め、検討していく。</p>		
基本方針							
基本施策							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)				

ものづくり基本計画		重点項目		平成28年度				
重点項目	事業名	⑧ものづくり関連の民間活動団体への支援		予算額	0千円			
				決算見込額	0千円			
	事業概要	<p>地域で活躍するものづくり関連団体としては、大手製造企業出身のエンジニアを中心に組織とする日立清水理科クラブやNPO法人マンパワーカフェが挙げられます。</p> <p>日立清水理科クラブでは、子ども達への理科教育をはじめ、ものづくりの醍醐味などを併せて提供しています。</p> <p>また、NPO法人マンパワーカフェについては、中小製造事業者が抱える課題への的確なアドバイスなどを行っています。</p> <p>こうした地域社会に大きな貢献を果たしている公益性の高い団体に対しては、広報等を通じて団体活動を幅広く周知するなど、積極的な側面支援を展開していきます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■会報の配架 日立清水理科クラブが毎月発行する会報を産業振興課カウンターに配架し、活動の周知を実施。</p> <p>■活動の実施協力 日立清水理科クラブが企画していた「静岡市長杯水ロケット大会」について、その実現に向けた各種調整を実施した。</p>		
					補足事項	進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
							H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	広報等による支援の実施		事業評価	事業結果	<p>■会報の配架 日立清水理科クラブが毎月発行する会報を産業振興課カウンターに配架し、活動の周知を実施した。</p> <p>■「静岡市長杯 水ロケット大会」への支援の実施 平成28年11月19日に「静岡市長杯水ロケット大会」をIAIスタジアムにて開催し、広報や会場の借用、市長杯の授与等において具体的な支援を実施した。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
	産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p>	<p>■具体的な支援の継続 平成28年度の「静岡市長杯水ロケット大会」開催に当たり、様々な側面からの支援を実施した。次年度以降も、このような具体的な側面支援を展開していきたい。</p>			
基本方針								
基本施策								
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)					

事業 1	ものづくり 基本計画	(方針1) 企業の誘致と留置の推進		平成28年度		
	事業名	(事業1) 企業立地の推進	予算額	492,000 千円		
			決算見込額	391,713 千円		
	事業概要	<p>企業の誘致と留置の推進については、すでに策定済みの「静岡市企業立地戦略指針」や企業立地促進法に基づく「静岡市地域の基本計画」を進めるとともに、事業者の抱える課題等を把握していきます。また、企業に対しては、遊休用地・設備等の再編をはじめ、市内における事業継続、新規立地を促す情報提供及びPR活動のほか、優遇策の提供により、市内企業の留置と市外からの新規誘致を積極的に進めます。</p> <p>特に、広域交通インフラを活かした物流関連産業の立地促進、都市機能の集積を活かした都市型関連産業の立地促進、そして第2次静岡市産業振興プランに掲げた戦略産業の立地促進などを実施していきます。</p> <p>さらに、企業立地用地の確保の推進については、民間による開発促進に向けた支援の拡充のほか、公共による開発を含めた用地確保を検討します。</p>	取組状況	H29.3.1 現在	<p>市内企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、企業立地を促す情報提供や助成制度の提供により、企業立地の促進に努めている。</p> <p>市内の不動産情報を収集・提供する制度を設け、市内に立地を希望する企業等に対し、情報を提供しマッチングを進めている。</p> <p>工場立地や事務所賃借に対しての助成制度拡充のほか、地域再生計画に基づく「地方活力向上地域特定業務施設整備計画」の認定支援を行うことにより、助成制度活用を促している。</p> <p>・新規企業立地件数 43件 ・市内企業訪問 509件 ・市外企業訪問 141件 ・企業立地相談件数 168件</p>	
			進捗率等	H29.3.31 現在	(新規企業立地件数) H28/43件 252 (%)	
			補足事項	<p>■新規企業立地件数 43件</p> <p>市内企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、企業立地を促す情報提供や助成制度の提供により、企業立地の促進に努めている。</p> <p>市内の不動産情報を収集・提供する制度を設け、市内に立地を希望する企業等に対し、情報を提供しマッチングを進めている。</p> <p>工場立地や事務所賃借に対しての助成制度拡充のほか、地域再生計画に基づく「地方活力向上地域特定業務施設整備計画」の認定支援を行うことにより、助成制度活用を促している。</p> <p>(参考事項)</p> <p>・市内企業訪問 509件 ・市外企業訪問 141件 ・企業立地相談件数 168件</p>		
	成果目標	新規企業立地件数 17件/年 (静岡市地域基本計画) 平成25～29年度 85件/ 5年		事業結果		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針	1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業 評価	
		大施策	(1) 地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進			
		中施策	①企業の誘致と留置の促進			
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築		<p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p> <p>工場立地の大規模投資案件の増加に向けて、業務の適正化及び効率化を図るため、補助制度及び交付事務手続きの見直しを行う。</p>		
	基本方針	(2) 物流クラスターの強化 ※1 (3) 企業等の誘致・留置 ※2				
	基本施策	※1 ③低・未利用地の活用促進 ※2 ①県外企業等の誘致の推進 ②市内企業等の留置の推進				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援 (異業種交流支援を含む)		平成28年度		
事業名	(事業2) 全国規模等の見本市への出展助成		予算額	13,900 千円		
			決算見込額	13,900 千円		
事業概要	<p>市内の中小製造事業者が、販路を開拓し、製品の販売促進に向けて、市内外で開催される全国規模、または国際的な展示会や見本市等に出展又は開催する経費のうち、小間料等を助成します。</p> <p>助成内容の拡充については、助成に基づく成約額等の実績などを考慮しながら検討していきます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■補助申請件数及び執行額</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助申請件数 51件 執行額 13,311千円 	
			進捗率等	H28.9.1 現在	<p>交付決定企業数 51件</p> <p>93 (%)</p>	
	補足事項		H29.3.31 現在	<p>補助金利用企業数 53件</p> <p>96 (%)</p>		
成果目標	全国規模展示会等への出展・開催件数 55件/年		事業結果	<p>■申請件数：53件 執行額：13,900千円</p> <p>■申請企業数はほぼ昨年並み、執行率は満額となった。</p> <p>■当補助金を利用した53社の内、海外展示会への出展を行った企業数は4社、また新規利用が9社あり、補助金についても周知が図られている。</p> <p>■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。</p> <p>■9月時点で予算がほぼ満額執行となるため、その後展示会出展を検討する企業が利用できないケースが出てきている。</p>		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>次年度に向けた改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標の未達成理由等 <p>■年度末に出展を予定する申請者に対しても、本助成制度を活用できるよう、申請受付期間については引き続き2期に分けて行う。</p> <p>■初めて展示会に出展する企業の後押しをする等の本補助金の趣旨を踏まえ、出展回数に応じ補助金額を変動させる制度変更を実施する。</p>	
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	中施策	新市場・販路開拓に対する支援				
産業振興プラン位置付け	基本方向					
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

事業 3-1	ものづくり基本計画	(方針2)新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成28年度		
	事業名	(事業3)首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-1)特産品東京展示会事業		予算額	4,601千円	
				決算額	4,597千円	
	事業概要	この事業は、首都圏の商業施設等(東京丸の内KITTEやJR新宿駅構内のイベントコーナーなど)において、本市特産品の展示販売のほか、職人による実演等を実施し、伝統的工芸品を含む地場産品の販売促進に取り組みます。 また、展示会事業では、展示販売だけでなく、バイヤーを招いて商談機会を設けるなど、更なる販売促進に結び付ける取組も実施していきます。 開催会場については、本市地場産業にとって、収益性の向上等の効果が見込める会場を検討して選定します。		取組状況	H28.9.1 現在	■10月19日～21日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品新宿展示会」を開催し、伝統工芸品を中心とした、本市地場産品等の販売を予定している。伝統工芸実演ではクラフトマン事業利用者を採用し「井川メンパ」の実演を予定している。また、しずまえとコラボレーションすることで従来の地場産品だけでなく、広く本市をPRする。
				進捗率等	H28.9.1 現在	0円 0(%)
				補足事項	H29.3.31 現在	613万円 123(%)
	成果目標	会場売上金額(万円) 500万円/年(2,000万円/4年)		事業結果	■10月19日～21日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品新宿展示会」を開催し、伝統工芸品を中心とした、本市地場産品等の販売を実施。伝統工芸実演ではクラフトマン事業利用者を採用し「井川メンパ」の実演を行った。また、しずまえとコラボレーションすることで従来の地場産品だけでなく、広く本市をPRできた。各職人の丁寧な接客で展示後の商談にもつながり、大きな成果を得ることができた。 期間中の来場者数 約13,795人 期間中の売上額 約6,134千円	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	産業振興プラン位置付け	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	■当展示会は15回目をむかえ、来場者は1/3以上がリピーターで首都圏に定着してきたと言える。しかしながら約2割の方は静岡市の工芸品を知らないと回答しており、工芸品のPRを強化することが課題である。 ■来場者の約8割は50代以上の年配者であり、若者世代にも来場していただく工夫が必要である。 ■静岡ならではの企画展の開催や、デジタルサイネージ、facebook等電子情報媒体を活用していくことで幅広い年齢層の方へ来場していただき、また出店者の配置を確認し、引き続き売上増を目指していく。
政策方針		商工・物流				
大施策		世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(興業種交流支援を含む)		平成28年度			
	事業名	(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-2) ホビーのまち静岡推進事業		予算額	78,428千円		
				決算見込額	76,466千円		
	事業概要	<p>ホビーのまち静岡の推進を図る中では、本市の特長であるプラスチックモデル産業を基盤としながらも、今後は、クリエイティブ、アート、コンテンツ等とホビー産業の関連分野との新たな連携や融合に取り組んで、ホビー関連産業の裾野拡大に努めます。</p> <p>こうしたホビー関連産業の広がりに向けては、動画配信のほか、首都圏の商業施設等において、PR活動等を継続的に実施し、更なる顧客の拡大や新たな購買層の獲得に結び付けていきます。</p> <p>このような裾野拡大やPR活動等の継続的な実施により、多くの方々に「静岡市に行けば、一生楽しめる趣味が見つかる」や、「ホビーと聞けば、即座に静岡市をイメージする」と認識していただけるように努めていきます。</p>		取組状況	H28.9.1現在	<p>下記のとおり首都圏においてプロモーションイベントを開催した。</p> <p>名称:首都圏PR ホビーのまち静岡inららぽーと豊洲 期間:平成28年5月3日~4日(2日間) 会場:ららぽーと豊洲1Fセンターポートイベントスペース 概要:ホビー推進協議会静岡の各メーカーの製品展示、プラモデル工作体験を中心とした「ホビーのまち静岡」及び「静岡ホビーショー」のPRを行った。 来場客数:10,000人</p>	
				進捗率等	H28.9.1現在	152,132人	63(%)
				補足事項	H29.3.31現在	257,807人	106(%)
	成果目標	関連施設・イベント入込客数 (現状 212千人/目標 H30 223千人) (H27 216千人/H28 219千人/H29 221千人)		事業結果	<p>下記のとおりプロモーション事業を行った。</p> <p>■首都圏PR(第1回目) 名称:ホビーのまち静岡inららぽーと豊洲 期間:平成28年5月3日~4日(2日間) 会場:ららぽーと豊洲1F センターポートイベントスペース 来場客数:10,000人</p> <p>■首都圏PR(第2回目) 名称:ホビーのまち静岡inイオンレイクタウン 期間:平成29年1月28日~29日(2日間) 会場:レイクタウンmori 1F 木の広場(埼玉県越谷市) 来場客数:10,000人</p> <p>■小田急電鉄広告掲載 掲載枚数:中刷り広告 2,000枚(全車両)/駅貼りポスター 70枚(全駅) 掲載期間:中吊り広告 4日間/駅貼りポスター 2週間</p> <p>■ホビーのまち静岡 動画配信 概要:ホビーのまち静岡の歴史やイベントを紹介するPV(H27年度作成)をyoutubeやホビースクエアHPで動画を配信した。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>①首都圏PRはより効果的なイベント内容及び来場者が静岡市を感じられるような会場レイアウト作りを検討する。</p> <p>②各プロモーション事業を実施したことによる効果を検証し、次年度以降の施策に反映していく。</p>
		大施策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
		中施策	戦略産業の育成・集積を推進				
産業振興プラン位置付け	基本方向	戦略産業の振興	価値	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>①首都圏PRはより効果的なイベント内容及び来場者が静岡市を感じられるような会場レイアウト作りを検討する。</p> <p>②各プロモーション事業を実施したことによる効果を検証し、次年度以降の施策に反映していく。</p>		
	基本方針	観光・ブランド産業					
	基本施策	ホビー産業育成支援事業					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)				

事業 3-3	ものづくり基本計画	(方針2)新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成28年度		
	事業名	(事業3)首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-3)しずおか葵プレミアム認証事業		予算額	2,717千円	
				決算見込額	1,763千円	
	事業概要	この事業では、本市ならではの魅力を生かした認証品の販売支援等を通じて、認証事業者の収益向上に努めるとともに、消費者に本市を思い描いてもらう認証品づくりについて、認証事業者、ブランド認証専門委員、関連事業者、市が連携を図りながら実施していきます。 具体的には、バイヤーを含むブランド認証専門委員による認証品の販売促進に向けた販路の選定や、大消費地である首都圏等の商業施設等を想定した販売促進を支援します。 さらに、その内容を踏まえて新規認証再開に向けた制度設計の検討を行い、新たなステージでの事業推進に取り組んでいきます。		取組状況	H28.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■展示販売関係 ・第60回静岡まつり 4月1日～4月3日 ・静岡ホビーショー 5月12日～5月15日 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」 5月12日～5月18日 ・新東名静岡SA「しずおかマルシェ」での企画展 8月6日～8月14日
				進捗率等	H28.9.1 現在	(展示即売会数)4回 36.4(%)
	補足事項			H29.3.31 現在	(展示即売会数)13回 118.2(%)	
	成果目標	展示即売会 11回/年		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■展示販売関係 ・第60回静岡まつり:4月1日～4月3日 ・静岡ホビーショー:5月12日～15日 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」:5月12日～18日 ・新東名静岡SA「しずおかマルシェ」での企画展: 8月6日～8月14日 ・しんきんフェア:10月12日 ・産業フェア:11月26日～27日 ・静岡交流会in東京:12月14日 ・駿府匠宿工芸館「しずおか葵プレミアム展」: 12月23日～1月22日 ・ペガサート地下展示:1月22日～4月28日 ・鞠子楽市「しずおか葵プレミアム展」:1月26日～2月7日 ・「しずおかセレクション」in新東名静岡SA: 2月10日～4月6日 ・松坂屋静岡店開店85周年記念企画×しずおか葵 プレミアム:3月15日～3月21日 ・ドリプラ販売会:3月25日～26日 	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野別	商工・物流分野			
		政策	政策2.世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	施策1.新市場・販路開拓に対する支援			
産業振興プラン位置付け	分野別	商工・物流分野		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 ■H29年度は新たに「市民が選ぶ静岡市逸品『しずおか葵プレミアム・アワード』」としてリニューアルし、事業を推進していく。 【主な変更点】 ①市民投票の実施 (従来)専門家による審査のみ → 審査の過程に「市民投票」を導入 ②2年に1度の選定 (従来)認証商品の選定 毎年 → 2年に1度 ※「2年1クール」のスキーム(1年目は認証、2年目はその商品をPR・支援)	
	政策	政策2.世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	施策	施策1.新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 海洋産業イノベーション推進係		その他(特記事項)			

事業 4	ものづくり基本計画	(方針2)新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成28年度			
	事業名	(事業4)中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援		予算額	76千円		
				決算見込額	11千円		
	事業概要	中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援については、新規顧客開拓や新分野進出を目指す市内企業を支援するため、情報発信及びビジネスマッチングの機会提供を推進します。		取組状況	H28.9.1現在	■まちなみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おた研究・開発フェア 平成28年10月6日～7日 募集終了 参加企業1社 ・おた工業フェア 平成29年2月2日～4日 募集予定1社	
					補足事項	進捗率等	H28.9.1現在
	H29.3.31現在	(支援事業への参加企業数) H28 / 1社 計 / 1社 50(%)					
	成果目標	おた研究・開発フェア及びおた工業フェアの出展企業数 2社/年		事業評価	事業結果	■まちなみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おた研究・開発フェア(東京都大田区) 平成28年10月6～7日 出展企業1社 ・おた工業フェア(東京都大田区) 平成29年2月2～4日 出展企業なし	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流			次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	■市内オンリーワン・ナンバーワン企業の発掘とその技術や製品の情報収集に向け、積極的に企業訪問を継続する。 ■市内中小製造事業所が持つ高い技術力の効果的なPRに繋げるような展示会等についての情報を広く集め、事業所に対し発信していくとともに、東京都大田区で実施される本展示会以外の展示会への出展等についても検討する。
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	産業振興プラン位置付け	施策1	新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等		経済局商工部 産業振興課 工業振興係	その他(特記事項)				

ものづくり基本計画		(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援（異業種交流支援を含む）		平成28年度			
事業名	(事業5) 地場産品の販路開拓と販売促進	予算額		23,214千円			
		決算額		22,701千円			
事業概要	この事業では、伝統工芸創造部会の提言等に基づいて、次に掲げる5つのポイントのもとで、伝統的工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を検討して事業化を進め、地場産業関連事業者の収益性の向上に努めています。		取組状況	H28.9.1現在	<ul style="list-style-type: none"> ■(事業5-1) 伝統工芸品等の展示販売会の充実化 ■(事業5-2) 海外における地場産品の販路開拓 ■(事業5-3) インターネットの活用による地場産品の販売促進 ■(事業5-4) 問屋的機能の再興に向けた検討 ■(事業5-5) 地場産品販売拠点の充実化 		
	<p>伝統的工芸品を含む地場産品については、販路開拓と販売促進に関する課題を抱えているため、顧客のニーズを把握した上で、展示販売会の充実をはじめ、海外販路の開拓、インターネットを活用した販売促進に向けた支援を展開します。</p> <p>また、地場産品の販売拠点であるJR静岡駅構内の駿府楽市については、観光事業担当課などとも連携し、観光客の来店を促す特典等を検討するなど、これまで以上に販売を促進させる取組を推進していきます。</p> <p>さらに、伝統的工芸品については、売上げが見込める商品づくりに努めていきます。</p> <p>そのためには、首都圏等におけるテストマーケティングの実施をはじめ、顧客ニーズに関する情報を的確に伝統工芸職人に伝えるなど、消費者と生産者を結びとともに、伝統工芸分野の収益性を高める問屋的機能の再興を検討していきます。</p>				<p>■静岡市の特産品東京展示会事業、シズオカ「KAGU」メッセ等、各種展示会開催による販路拡大を行う</p> <p>■海外展示会において、静岡市の工芸品を展示し販路開拓予定</p> <p>■駿府楽市との定例検討会の実施 5回</p> <p>■JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間27回の展示会を開催予定、内現在までに12展示会を実施した。</p> <p>4/1~8/31までの来場者数 158,300人</p>		
					H28.9.1現在	(5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 12回 44.4% (5-5) 駅駿府楽市来場者数 15.8万人 38.1%	
					H29.3.31現在	(5-1) 各展示販売会来場者数 274,423人 101.6% (5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回 100.0% (5-5) 駅駿府楽市来場者数 41万人 98.8%	
						<p>■静岡市の特産品東京展示会事業、シズオカ「KAGU」メッセ等、各種展示会の入場者数 274,423人</p> <p>■ドイツの世界最大規模の国際消費財見本市における静岡市の工芸品（静岡挽物）の開発品及び既存商品の展示を行い、海外バイヤー等の反応を確認した。会場：アンビエンテ 期日：平成29年2月</p> <p>■駿府楽市と業界、市の検討会の実施 27回</p> <p>■JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間27回の展示会を開催した。年間来場者数 413,180人</p>	
成果目標	(5-1) 各展示販売会来場者数 270,000人 (5-2) (海外に向けた) 開発と販路等の検討 (5-3) 駿府楽市Webページ改修(済) (5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回 (5-5) 駅駿府楽市来場者数 41.5万人		進捗率等	H29.3.31現在			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			商工・物流	事業結果	
		大施策			世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		
産業振興プラン位置付け	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達理由等	<p>■海外展示会においては、バイヤー等の反応により展開の可能性を引き続き探索していく。</p> <p>■駿府楽市との定例検討会は実施できているが、これに業界を交えた問屋的機能に絞った会合等を検討していく。</p> <p>■駿府楽市の静岡市特産品展示コーナーの展示会は引き続き継続していき、より一層の来場者の向上を目指す。</p> <p>■駿府楽市は平成3年の開店から内装の改装が行われていない。店舗部分と合わせ展示コーナーのリニューアルを検討する必要がある。</p>		
	政策方針	商工・物流					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

事業 6	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度			
	事業名	(事業6) 新産業開発振興機構の活用に関する検討		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>地場製品の開発や販促をはじめ、地場産業界の競争力強化に関しては、新たな進展を図るため、製造事業者の集積機関である新産業開発振興機構との連携促進に向けて検討を進めます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■静岡商工会議所機構事務局との協議を継続し、伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携を模索する取組を推し進めていく。</p> <p>■機構が有する多様な経営資源のなかから、どのような分野が伝統工芸とマッチングできるかを調整していく。</p> <p>■地場産業企業と連携について協議を開始した。</p>	
					進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
						H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	新産業開発振興機構との連携促進に向けた検討		事業結果	<p>■静岡商工会議所機構事務局と連携し、大学及び業界団体のマッチング可能性を調査したが、マッチングには結びつかなかった。</p> <p>■地場産業企業との協議を実施したが、同機構のノウハウ活用までは至らなかった。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■静岡商工会議所機構事務局との協議を継続し、伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携を模索する取組を検討し推し進めていく。</p> <p>■地場産業団体に対し、引き続き大学等との連携希望について調査していく。</p>		
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

事業 7	ものづくり 基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度		
	事業名	(事業7) 中小企業技術開発支援事業		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	<p>この事業では、中小製造事業者や業界団体等を訪問し、開発や生産技術等に関する課題などを把握した上で支援テーマを設定し、中小製造事業者の生産活動を支援していきます。</p> <p>初年度である平成26年度には3Dプリンタをテーマに設定し、セミナーの開催や、市・事業者で組織された研究会を通じて、商品開発を支援する仕組み作り等について検討を進めています。</p> <p>今後は、県や関係機関との連携を強化しながら、3Dプリンタや、知的財産を利用した技術開発事業を検討し、引き続き、中小製造事業者に対する生産活動を支援していきます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	■3Dプリンタの利活用を希望する事業者からの相談があった際は、機器や訓練コースを備える清水テクノカレッジ（静岡県立清水技術専門学校）等の専門機関への橋渡しを行った。
				進捗率等	H28.9.1 現在	0(%)
				補足事項	H29.3.31 現在	(支援件数) 1件
	成果目標	研究会、セミナー等参加者への支援件数 1件/年		事業結果	事業評価	■3DCAD技術の習得についての相談を受けた企業(1社)については、技術訓練校の職業支援の枠組みについて紹介を行い、利用を促す等の支援を実施した。
	総合計画の 位置付け (分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興 プラン 位置付け	基本方向		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	■3Dプリンタや3DCADに興味がある市内中小企業の相談に対して、各支援機関等と連携して支援が行えるような体制を引き続き維持する。		
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 8	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度		
	事業名	(事業8) 若手グループの商品開発支援(ものづくり相談・支援)		予算額	975千円	
				決算見込額	841千円	
	事業概要	この事業では、市内地場産業の活性化に向けて、デザイン、加工技術、経営等に関する各種講演会や講習会のほか、事業者のニーズに基づいて、実務経験等が豊富な人材を派遣し、地場産業関連事業者を支援します。		取組状況	H28.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 塗装技術研究会の実施 5回(計8回予定) ■販路開拓講演会の開催 販路開拓講演会0回(1回予定) ■商品開発支援事業の実施 漆器商品開発研究会(1回)(2回予定) ■産学連携技術指導講演会の実施 商品開発指導0回(1回予定)
						補足事項
	H29.3.31 現在	講習会、講演会、指導会開催回数 11回 367(%)				
	成果目標	講演会、指導会等の開催回数 3回		事業結果 事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 塗装技術研究会の実施 8回 ■販路開拓講演会の開催 販路開拓講演会 1回 「ドイツで売れるものづくりへの挑戦」(鈴木里美氏) ■商品開発支援事業の実施 漆器商品開発研究会 1回 「乾漆研究会」 ■産学連携技術指導講演会の実施 商品開発指導 1回 「静岡地域産業のこれからについて」(五十嵐久枝氏) 	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		中施策	新製品・技術開発等に対する支援			
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■漆器商品流通化の実施 乾漆を中心とした漆器商品開発については開発段階は進捗しており、専門家指導により商品化をめざし継続していく。 		
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	中施策	新製品・技術開発等に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度		
事業名	(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援 (事業9-1) 商品企画・開発支援プロジェクト事業	予算額		指定管理料88,348千円の一部 千円		
		決算見込額		指定管理料88,348千円の一部 千円		
事業概要	商品企画や開発支援では、産学交流支援センターにおいて、マーケティング等の専門家を活用し、地域資源を生かした商品づくりを支援します。	取組状況	H28.9.1 現在	【「静岡おみやプロジェクト商品開発講座・個別相談会」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成28年6月28日～平成29年3月末 ・上限枠 6社 ・8月25日おみやプロジェクト勉強会(調味戦略)を開催 「リピーターを増やす調味戦略」及び「パッケージデザインの評価」についての講座を実施した。 【今後の予定】 ・9/15商品企画書発表・試作品確認を行う予定 ・10/20県内バイヤーによる試食評価会開催予定 ・11/26・27産業フェアにてテストマーケティングを行う予定		
			進捗率等	H28.9.1 現在	商品化件数 0件	0 (%)
補足事項		H29.3.31 現在		商品化件数 6件	100 (%)	
成果目標	商品化件数 6件/年		事業結果	【「静岡おみやプロジェクト商品開発講座・個別相談会」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成28年6月28日～平成29年3月末 ・参加企業数 6社 ・マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応、デザイナーによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の開発及び商品パッケージの完成。 ・11/26・27 テストマーケティング実施 ・3/8 成果発表会実施 ・3/25・26 お披露目販売会実施		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 商工・物流		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 ・本講座の内容では、参加事業者の商品化への意欲にバラつきが発生し、確実に商品化までフォローすることが難しかった	
	大施策	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
	中施策	01 戦略産業の育成・集積を推進				
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 商工・物流	その他(特記事項)			
	基本方針	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
	基本施策	01 戦略産業の育成・集積を推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係					

事業	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度		
	事業名	(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援 (事業9-2) 新商品・特許事業		予算額	6,150千円	
				決算見込額	5,798千円	
	事業概要	市内中小製造事業者が取り組む新商品の開発及び特許等の産業財産権の取得などについては、その出願経費の一部を助成します。 なお、新商品開発の経費助成については、本市産業経済の牽引が期待される産業に関して、産業振興プランに掲げる戦略産業の事業者を対象に助成内容の拡充について検討します。		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理している。今後、1月末までに中間検査を実施し、年度末の事業完了報告を経て補助金を交付する。(交付決定額:4,000千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 9月1日現在、補助金交付申請件数は14件となっている。特許:5件、意匠:1件、実用新案:1件、商標:7件 今後、事業完了報告を経て補助金を交付する。(交付決定額:1,196千円)</p>
					補足事項	進捗率等
	H29.3.31 現在	<p>新商品開発及び産業財産権出願等の件数 27件 (内訳) 新商品助成件数 4件 産業財産権助成件数 23件</p> <p>108 (%)</p>				
	成果目標	新商品開発及び産業財産権出願等の件数 25件/年		事業評価	事業結果	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理した。中間検査で現地訪問により進捗状況を確認したところ、各事業所とも課題点等はあったものの、順調に開発を進めており、交付決定した4社全て、年度内に開発を終えることができた。(交付金額:3,670千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 年度末までに次のとおりの交付申請があった。 申請件数 23件 (内訳) 特許 9件、意匠 2件、実用新案 1件、商標 11件 (交付金額:2,128千円)</p> <p>■事業の周知活動 市内金融機関等の各関係企業、団体への訪問や会議についての説明を通じて、本事業の周知を図り、助成制度の活用促進に努めた。</p>
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		中施策	新商品・技術開発等に対する支援			
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■新商品等開発助成については、前年度本補助金を利用した企業に対するヒアリングを行い、開発した商品の現況を把握する。課題等がある場合は、解決に結び付くよう支援を検討する。</p> <p>■両事業共に、他の団体及び支援制度等との連動を意識し、より効果的に支援が出来る施策となるよう検討したい。</p>			
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

事業 10	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度			
	事業名	(事業10) アーティストとのコラボレーション支援推進 (ニューウェーブしずおか創造事業)		予算額	6,437 千円		
				決算見込額	6,146 千円		
	事業概要	この事業では、本市の特色を生かして開発される家具等の新商品開発と新規の流通開拓を支援します。 具体的には、意欲ある企業による研究会の立ち上げのほか、事業者とデザイナー等との協働によって開発された商品を流通市場で広くPRすることで販売促進を支援します。		取組状況	H28.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> 参加者募集とデザイナー公募によるデザイン開発 新たに参加企業を募集しデザイナーを公募。デザイナーと協同しデザイン開発を行い試作を行った。 商品試作とリデザイン デザイン開発された商品を試作中。プロデューサー指導のもとリデザインを実施予定。 展示会への出展(予定) 東京インターナショナルギフトショー」に出展予定。各種PRツールを作成し、商品化を模索する。 	
				進捗率等	H28.9.1 現在	0 (%)	
				補足事項	H29.3.31 現在	(開発点数) 平成28年度 41点 205 (%)	
	成果目標	開発点数 各年度 20点		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> 事業参加者及びデザイナーの各チームの決定 意欲ある事業所を募り、参加7者が公募デザイナー6名を選出し、プロデューサー指導のもと協議を行った。 デザイン開発 各チームごとに協議を繰り返し、ビジョンの策定とそれに基づくデザイン開発を行った。 試作とリデザインによる製品試作 デザイン図面に基づき、試作を行い、必要に応じリデザインや再試作等を実施し、プロトタイプを開発した。 販売ツール作成と広報活動 開発品の撮影等を行いパンフレットを作成。HP等で展示会等について告知を行いPRに努めた。 展示会への出展 「東京インターナショナルギフトショー」(2月)に出展。多数の来場者の反応を確かめ、営業活動を行った。 商品化の模索 商品修正及び小売店等での小規模展示を実施。各展示会出展等での反響先を中心として、営業活動を継続。販路開拓作業を継続実施した。 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		中施策	新製品・技術開発等に対する支援				
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流		事業評価	<ul style="list-style-type: none"> 改善点等 流通化率をより高めるため、首都圏での見本市出展に加えて、小売店出展や小規模展示会等により、市場への展開を多面化する。 		
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
	中施策	新製品・技術開発等に対する支援					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度		
	事業名	(事業11) 地域課題に係る産学共同研究への支援		予算額	指定管理料88,348千円の一部	千円
				決算見込額	指定管理料88,348千円の一部	千円
	事業概要	この事業は、経済環境の変化によって生じる高度で複合的な地域課題を解決するため、地域の産業界をはじめ、新産業開発振興機構などが大学の知見・人材・分析能力を生かし、共同で取り組む調査研究を支援します。		取組状況	H28.9.1 現在	【産学交流センター】 ■地域課題に係る産学共同研究に対する委託事業：委託研究数 8件 ・新規な燻製レトルト黒はんぺんの開発 ・竹粉の乳酸発酵技術の開発及び発酵食品への応用 ・医療用器具のデザイン化への研究開発 ・魚由来のヘム鉄を原料としたメンタルサポートサプリメントの開発 ・腸内フローラの改善を目指した高機能性柑橘加工品の開発 ・竹パウダー肥料を用いた地域ブランド農作物の開発 ・三保地下水を用いた地域ブランド農作物の開発 ・「静岡のバラ」ブランド化に向けた8ラ抽出エキスの事業化とその関連製品の開発 ■委託期間：委託締結日（平成28年7月7日）～平成29年2月28日 ■成果発表：平成29年3月17日
				進捗率等	H28.9.1 現在	(産学共同研究数) 8件
	H29.3.31 現在	(産学共同研究数) 8件	117 (%)			
	成果目標	6件/年		事業評価	事業結果	【産学交流センター】 ■地域課題に係る産学共同研究に対する委託事業：委託研究数 8件 ・新規な燻製レトルト黒はんぺんの開発 ・竹粉の乳酸発酵技術の開発及び発酵食品への応用 ・医療用器具のデザイン化への研究開発 ・魚由来のヘム鉄を原料としたメンタルサポートサプリメントの開発 ・腸内フローラの改善を目指した高機能性柑橘加工品の開発 ・竹パウダー肥料を用いた地域ブランド農作物の開発 ・三保地下水を用いた地域ブランド農作物の開発 ・「静岡のバラ」ブランド化に向けた8ラ抽出エキスの事業化とその関連製品の開発 ■委託期間：委託締結日（平成28年7月7日）～平成29年2月28日 ■成果発表：平成29年3月17日
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 商工・物流			
		大施策	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
		中施策	01 戦略産業の育成・集積を推進			
	産業振興プラン位置付け	基本方向	3 商工・物流	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・よりよい研究テーマの洗い出し ・研究の進捗管理の仕方 ・アフターフォローの充実性	
基本方針		01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
基本施策		01 戦略産業の育成・集積を推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成28年度			
事業 12	事業名	(事業12) 職人に対する商品開発手法等の教育		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>この事業では、伝統工芸創造部会の提言に基づいて、伝統工芸職人の新たな商品づくりに向けた活動を支援するため、顧客ニーズを考慮した商品開発手法などを学習する機会を提供します。</p> <p>マーケットに触れる機会が多くない職人や工房では、自己完結型の商品に陥る危険性があります。</p> <p>そのため、技術的側面に加え、マーケットの声を傾聴するとともに、それをどのように商品開発に生かしていくのかという教育の場が必要となります。これ以外にも、販売促進に向けた知識をはじめ、ビジネスとして展開できるまでの教育機会を提供します。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■ 専門家による商品開発や指導会等の場の提供</p> <p>職人等を集め、デザイン又はマーケティング等の専門家を招聘し、商品開発の基礎をはじめマーケティングの手法から販路開拓に向けての知識等を教育する場を設ける。</p> <p>(ニューウェーブしずおか創造事業において充当) 1回</p>	
				進捗率等	H28.9.1 現在	1回	100(%)
					H29.3.31 現在	1回	100(%)
	成果目標	職人向け指導会等開催回数 1回		事業 結果	<p>■ 専門家による商品開発や指導会等の場の提供</p> <p>職人等を集め、デザイン又はマーケティング等の専門家を招聘し、商品開発の基礎をはじめマーケティングの手法から販路開拓に向けての知識等を教育する場を設けた。</p> <p>(ニューウェーブしずおか創造事業において充当) 1回 武蔵野美術大学教授 平成29年3月実施</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流				
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	産業振興プラン位置付け	中施策	新製品・技術開発等に対する支援	事業 評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■ 専門家による指導等の場の継続とレベルアップ</p> <p>商品開発指導からステップアップし、マーケティング手法により販路開拓等を学ぶレベルを上げていく。</p>		
		政策方針	商工・物流				
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)			

事業 13	ものづくり 基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度		
	事業名	(事業13) 国、県等に関する 補助制度等の情報提供支援		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	この事業は、中小製造事業者の事業展開に対して、適時的確な補助制度等に関する情報を提供します。 また、中小製造事業者が段階的な成長を遂げていくための補助制度プランの提示をはじめ、市ホームページにおける補助制度の検索システムや地域金融機関への説明会の開催などを検討します。		取組状況	H28.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■国や県等の補助制度に関する情報の収集 国や県、その他産業支援機関等の発行する施策利用ガイドブック及びホームページ掲載情報等により、補助制度に関する情報収集を実施することとした。 ■本市補助制度等の地域金融機関への説明会の計画 地域金融機関に対する本市補助制度等の説明会を平成29年3月に開催することを計画した。
		補足事項			進捗率等	H28.9.1 現在
				H29.3.31 現在		(%)
	成果目標	国や県等の補助制度に関する情報の整理及び製造事業者への適時適切な情報提供		事業 評価	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■国や県等の補助制度に関する情報収集の実施 国や県、その他産業支援機関等の発行する施策利用ガイドブック及びホームページ掲載情報等により、補助制度に関する情報収集を行った。 ■本市補助制度等の地域金融機関への説明会の計画 地域金融機関に対する本市補助制度等の説明会を平成29年3月に実施した。
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興 プラン 位置付け	基本方向		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■情報提供方法の検討及び提供の実施 情報収集後の中小製造事業者への効果的な情報提供方法及び収集情報をどのような形で取りまとめ、提供することがより分かりやすいか等の観点の検討がなされていないため、収集情報の提供に向け、検討・改善に取り組んでいく。 		
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 14	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度				
	事業名	(事業14) 企業OB技術者等の活用事業		予算額	763千円			
				決算見込額	669千円			
	事業概要	<p>多種多様な業種が混在する本市のものづくり産業においては、優れた技術者等が多数潜在しています。</p> <p>また、第一線を退いた技術者等が有する経験や知見は、中小製造事業者にとって、技術的課題等の解決に関し、有効な実務的手段と捉えることができます。</p> <p>この事業では、こうした技術者等と中小製造事業者を結び付ける機会を増やす取組を進めていきます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■課題を有する中小製造事業者に対するヒアリング調査の実施</p> <p>技術的な課題等を有する中小製造事業者の掘り起こしを地元信用金庫と進めるとともに、課題内容等の詳細を把握するため、それら事業者に対するヒアリング調査を実施した。</p>		
					補足事項	進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
							H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	企業OB技術者等の現状把握及び活用方策の整理		事業結果	<p>■課題を有する中小製造事業者に対するヒアリング調査の実施</p> <p>技術的な課題等を有する中小製造事業者の掘り起こしを地元信用金庫と進めるとともに、課題内容等の詳細を把握するため、それら事業者に対するヒアリング調査を実施した。</p> <p>実施の結果、各種課題のうち、特に人手不足に対する対応が特に求められていることが判明した。</p> <p>■市内企業と人材の交流会の開催</p> <p>平成29年3月、ポリテクセンター静岡において、市内の中小製造事業者と人材の交流会を開催し、53件の面談が行われ、3社3名のマッチングが実現した。</p> <p>■首都圏在住の人材掘り起こし等のためのセミナーの開催</p> <p>首都圏在住の企業OB技術者等の掘り起こし及び静岡への関心度合の把握等のため、平成29年3月、東京でセミナーを2回開催した。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>■人手不足解消に向けた対応</p> <p>中小製造事業者の喫緊の課題である人手不足の解消に向け、「市内企業と人材の交流会の開催」は引き続き必要であるが、スピーディーな対応をするため、交流会の開催だけではなく、中小製造事業者が直接、市内の製造業系の人材育成・養成機関との関係を作り、直接やり取りする仕組みづくりが必要である。</p> <p>■市内及び首都圏の企業OB技術者等と企業とのマッチング会の開催</p> <p>平成28年度の事業を受け、平成29年度は市内及び首都圏の企業OB技術者等と企業との間のマッチング会を開催し、具体的な技術的課題等の解決に向けた事業を実施したいと考えている。</p>		
		大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります。					
		中施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出					
産業振興プラン位置付け	基本方向	人材の育成・確保	価値	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>				
	基本方針	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります。						
	基本施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)					

事業 15	ものづくり 基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度					
	事業名	(事業15) 製造業部会等との 連携推進		予算額	0千円				
				決算見込額	0千円				
	事業概要	この事業は、市内中小製造事業者への支援を拡充させるため、市内に立地する企業等との情報及び意見の交換を実施します。 具体的には、静岡商工会議所の製造業部会等との連携を図り、これによって得られた情報等をもとに、支援事業のブラッシュアップを実施します。また、中小及び大手企業に対しては、地域産業の振興への更なる推進に向けて、理解促進を求めていきます。		取組 状況	H28.9.1 現在	■静岡商工会議所からの行政要望を通じた意見交換等の実施 製造業部会からの要望を含む静岡商工会議所からの行政要望を通じて、情報及び意見交換を実施した。			
		補足事項					進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
								H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	製造業部会等との連携による各支援制度のブラッシュアップ		事業 結果		■静岡商工会議所からの行政要望を通じた意見交換等の実施 製造業部会からの要望を含む静岡商工会議所からの行政要望を通じて、情報及び意見交換を実施した。 ■静岡商工会議所からの行政要望に対する検討及び回答 製造業部会からの要望を含む静岡商工会議所からの行政要望に対して検討を行い、検討結果について回答した。			
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針							
		大施策							
	産業振興 プラン 位置付け	中施策		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	■静岡商工会議所 製造業部会等との情報交換の実施等 製造業部会を含め、静岡商工会議所と本市支援制度に関する情報交換を引き続き実施するとともに、支援制度等に係る課題整理を行っていく。			
基本方向									
基本方針									
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)						

事業 16-1	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度				
	事業名	(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16-1) 産業構造の将来動向等に関する予測モデル構築の検討		予算額	336千円			
				決算見込額	192千円			
	事業概要	この事業では、今後のものづくり産業の見通しについて、本市のものづくり産業に関する工業統計や産業連関表などを利用し、支援事業の企画立案等に資するため、将来動向に係る基礎データの蓄積と予測モデルの構築を検討します。		取組状況 H28.9.1 現在	<p>■将来動向等に関する基礎資料の集積 今後の本市のものづくり産業の施策形成等に向け、本市のものづくり産業の将来予測等に関する基礎資料を整えるため、県内の経済及び経営に関する大学の教員に協力を依頼して、予測モデル等の検討を進めている。</p> <p>①事業期間 平成28年4月～平成29年3月 ②対象大学 静岡産業大学 ③参加人数 教授 ④事業経費 報償費等 ⑤その他 調査研究部会との連携協調など</p>			
					補足事項	進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
							H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	将来動向に係る基礎データの蓄積及び予測モデルの構築		事業 評 価	事業結果	<p>■ものづくり産業に関する考察の実施 平成28年度の実施としては、本市のものづくり産業について雇用の観点から業種毎のトレンドや将来予測、また製造業の生産性について考察した。 本調査結果から、「民生用電気機器」の生産は、市内で「プラスチック製品」等の雇用を誘発すること、また「ロボット」など「特殊産業機械」は雇用誘発力が最も大きい産業であることが明らかになった。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興プラン位置付け	基本方向		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■統計の整備に伴う調査・考察の実施 平成29年度に平成23年静岡市産業連関表が整備される予定であることから、それらを用いてより近年を対象とした調査・考察を行う必要がある。</p>				
	基本方針							
	基本施策							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)					

事業	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度				
	事業名	(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16-2) 地域間競争に臨む戦略的方策の検討		予算額	0千円			
				決算見込額	0千円			
	事業概要	この事業では、本市の強みを生かしたものづくり産業の連携をもとに、本市のものづくり産業の生き残り戦略に関して検討します。		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■第2次ものづくり産業振興基本計画に掲げる事業の進捗管理</p> <p>本市ものづくり産業の振興を図るためには、本市の強みをさらに強化することで地域間競争に対応を図ることが重要である。本市の強みについて、従業者を基本に捉えた場合、電気機械器具製造業や食品製造業などが地域を支える基盤産業といえる。</p> <p>一方、古くから地域で培われた伝統工芸をはじめ、造船、金属機械、家具等の木材加工業なども、本市のものづくり産業を捉える上で重要な業種である。</p> <p>本市としては、こうした地域を支える基盤産業や地場産業などが抱える課題への対応を図るため、ニーズへの支援策を展開することで、それぞれの業種分野が成長していく環境を醸成することが重要であり、それらに対応するため、平成27年度から平成30年度の4か年の計画として、「第2次ものづくり産業振興基本計画」を策定し、全42事業の平成27年度の進捗状況について調査した。</p>		
					補足事項	進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
							H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	地域間競争に打ち勝つための戦略的方策の検討		事業結果	事業評価	<p>■第2次ものづくり産業振興基本計画の進捗管理</p> <p>本基本計画に掲げる全42事業の効果的な推進に向けて進捗管理を実施し、23事業において当初の目標以上の進捗状況を達成することができた。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>■ものづくり産業界との関係構築の強化</p> <p>ものづくり産業界への支援展開は、第3次総合計画に掲げる人口70万人の維持に資するとともに、本市が地域間競争に勝ち抜くための重要な施策である。そのため、関係業界のニーズや動向を迅速かつ的確に把握することが求められている。こうしたことから、ものづくり産業界との関係性を更に強めていくことが重要である。</p> <p>■第3次基本計画策定に向けた検討</p> <p>平成31年度からの第3次基本計画の策定に向け、産業界の近年のトレンド等を踏まえ、事業内容の見直し等について、審議会に諮問して検討する。</p>					
	基本方針							
	基本施策							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)					

事業 16-3	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度			
	事業名	(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16-3) ものづくり先進都市等に関する調査研究		予算額	103千円		
				決算見込額	84千円		
	事業概要	この事業では、本市ものづくり産業の展望を見据える上において、先進都市等の動向などを調査研究し、今後の事業展開などに役立てていくための知見の収集と分析を実施します。		取組状況	H28.9.1 現在	■視察調査先の検討 事業16-1 産業構造の将来動向等に関する予測モデル構築の検討への知見の蓄積、また伝統産業の振興に係る知見収集等の観点から、視察調査先を検討する。	
				進捗率等	H28.9.1 現在		(%)
	補足事項			H29.3.31 現在	(調査都市数) 1都市(門真市) 100(%)		
	成果目標	先進視察都市数 1都市/年		■大阪府門真市の調査研究実施概要 大阪府門真市はパナソニックが本社を置き、製造業の従業員数の割合が、静岡市の倍以上あるなど製造業を主たる産業とするまちである。同市のものづくり企業の連携・交流を図る取組みや企業OB等からなる中小企業サポートセンターの活動を通じた、同市における生産性向上の取組みについて調査研究を実施した。 ①調査日 平成29年3月1日(水) ②調査先 門真市産業振興課 門真市中小企業サポートセンター ③実施者 産業振興課職員(2人) 静岡産業大学経営学部 教授 計3人			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				事業結果	
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向			事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等			
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)				

事業 16-4	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度			
	事業名	(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16-4) エネルギー需要状況等に関する調査研究		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	この事業では、生産活動に不可欠なエネルギーの需給について、市内企業の自家発電力などの現状把握をはじめ、今後の課題と対応策等に関し、静岡商工会議所製造業部会及び関連企業などの協力を得ながら調査研究を進めます。		取組状況	H28.9.1 現在	<産業政策課 新産業係> (冷熱利用についてのヒアリング調査) ■H27年度の調査結果を踏まえ、市内事業者に対し、冷熱利用についてヒアリング調査を実施し、利活用の可能性を探る。	
						<産業振興課 工業振興係> ■市内企業の自家発電の現状把握方法の検討 市内企業の自家発電の現状把握方法について検討を行う。	
						補足事項	進捗率等
	成果目標	現在のエネルギー需要の把握及び今後のエネルギー確保に向けた方策の整理		事業結果	H29.3.31 現在	(%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	事業評価			事業結果	<産業政策課 新産業係> (冷熱利用についてのヒアリング調査) ■市内事業者5者に対し冷熱利用の意向調査を実施した。
		大施策					<産業振興課 工業振興係> ■市内企業の自家発電の現状把握方法の検討継続 市内企業の自家発電の現状把握方法について継続して検討を行った。
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向	事業評価	事業結果	<産業政策課 新産業係> ■冷熱利用は初期投資額、事業用地などから実現困難と判断。 今後は、現在取り組んでいるエネルギー施策である水素エネルギー利活用やエネルギー地産地消事業などに沿った取り組みについて検討を行っていく。			
	基本方針			<産業振興課 工業振興係> ■市内企業の自家発電の現状把握方法の検討継続 市内企業の自家発電の現状把握方法について継続して検討する。			
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)				

事業 17-1	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度				
	事業名	(事業17) 地場産品に関する調査事業 (事業17-1) 地場産品の市場及び商品分析等に関する調査		予算額	0千円			
				決算見込額	0千円			
	事業概要	<p>地場産品の開発や販売促進については、顧客ニーズの把握と分析に加え、どのような販路を経由して消費者の手元に届けていくのかが重要となります。</p> <p>こうした点に関する調査結果については、地場産品の開発や販売促進などへの活用を図り、成果として、地場産業関係事業者の売上げ向上に結び付くように努めていきます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■首都圏での消費者ニーズの把握</p> <p>首都圏において地場産品の展示会やPR等を行うに際して消費者ニーズやウオンツを把握するため、アンケート調査を実施した。</p> <p>1回(台東区: 2k540) (2回予定)</p>		
					進捗率等	H28.9.1 現在	1回	50(%)
						H29.3.31 現在	3回	150(%)
	成果目標	首都圏等における調査実施回数2回		事業結果	<p>■首都圏での消費者ニーズの把握</p> <p>首都圏において地場産品の展示会やPR等を行う場において、消費者ニーズやウオンツまた地元商品に係る意見等を把握するため、聞き取りによるアンケート調査を実施した。</p> <p>計2回(台東区: 2k540 新宿区: 東京展示会)</p> <p>■静岡ひきものプロジェクトで東京インターナショナルギフトショーに出展し、市場調査を行った。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■調査の多様化と充実化</p> <p>首都圏でのアンケート調査により消費者ニーズやウオンツの把握等市場動向の把握はある程度できたが、調査人数の増加や、幅広い年齢層への調査でより効果的な市場調査としていく。</p>		
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
		中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進					
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■調査の多様化と充実化</p> <p>首都圏でのアンケート調査により消費者ニーズやウオンツの把握等市場動向の把握はある程度できたが、調査人数の増加や、幅広い年齢層への調査でより効果的な市場調査としていく。</p>				
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)					

事業 17-2	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度		
	事業名	(事業17) 地場産品に関する調査事業 (事業17-2) 伝統工芸品に関する代替素材の調査研究		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	<p>地場産業界の木工分野では、木地等の原材料調達が困難となりつつあるため、今後の商品製造が懸念されます。</p> <p>このような状況を回避するためにも、今後は、静岡大学農学部が取り組む木地の代替素材に関する研究に着目し、地場関連の製造事業者とも協力しながら、これに取り組めます。</p> <p>こうした取組に成果を出すことができれば、代替木地の開発、生産、使用との関連から、これまで市外に発注していた部分を市内に取り込むことができるため、市内における生産活動の連鎖から、経済波及効果にも期待が寄せられます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■木工・竹分野における原材料の実態を調査・把握</p> <p>■業界と一体となった調査活動の推進 地場産業の業界と協働し、代替素材として活用可能な素材の可能性について、協議を行い調査を進める予定</p>
				進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
				補足事項	H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	他都市、他産地の事例を調査研究		事業結果	<p>■漆器、下駄、竹分野等における原材料の実態を調査、把握</p> <p>■業界団体と意見交換を実施 地場産業の業界と協働し、代替素材として活用可能な素材の可能性について、協議を行い他産地の事例の調査を実施</p> <p>■竹素材の素材研究の実施 竹製品業界と協働し竹素材の破砕等による素材研究を実施</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		中施策	新製品・技術開発等に対する支援			
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■調査活動に対する現場調査等の実施 協議による調査活動から、実際に代替素材等を活用、あるいは検討している他の産地等に実際に訪問し調査研究を行う</p> <p>■静岡商工会議所 新産業開発振興機構と連携し、産学官のノウハウを活用していく。</p>		
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	中施策	新製品・技術開発等に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

事業 17-3	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成28年度		
	事業名	(事業17) 地場産品に関する調査事業 (事業17-3) 職人及び業界への支援の在り方に関する調査研究		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	地場産業については、後継者不足や売上げ不振などもあり、その先行きが懸念されます。この事業では、各種の支援事業を実施する一方で、特に伝統的工芸品の製作に従事する職人やその関連業界について、どのような支援の在り方が望まれるのかなどを検討します。		取組状況	H28.9.1現在	<ul style="list-style-type: none"> ■現行事業の再検討と調査活動の推進 実施中の各種支援事業について、業界と顔の見える関係を維持し、業界が何を求めているのかを理解し事業効果と業界ニーズとを勘案し、支援事業の再構築を図る。 ■他都市、他産地の事例を調査研究 堺市への視察を通じて、同市の地場産業に対する支援施策の取組の調査及び現状視察並びに同市の線香と本市の挽物の連携による販売戦略の検討を実施した。(H28.8.1~8.3)
		補足事項			H28.9.1現在	調査研究の実施 実施
					H29.3.31現在	他産地の調査研究の実施 実施
	成果目標	他都市、他産地の事例を調査研究		事業評価	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■現行事業の再検討と調査活動の推進 実施中の各種支援事業について、再検討を実施し、事業効果と業界ニーズとを勘案し、支援事業に係る調査研究を実施した。 ・後継者育成事業(クラフトマンサポート事業)においては、業界の要望により若手職人の業界への定着支援を強化した。 ■静岡挽物のあり方について調査研究 東京インターナショナルギフトショーにおいて、静岡挽物のニーズや活用方法について調査を実施した。 ■他都市、他産地の事例を調査研究 堺市への視察を通じて、同市の地場産業に対する支援施策の取組の調査及び現状視察並びに同市の線香と本市の挽物の連携による販売戦略の検討を実施した。(H28.8.1~8.3)
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興プラン位置付け	基本方向			次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■業界調査の実施 基本計画3年目となり、業界の高齢化等、変化も激しいことから、業界への聞き取り調査を行い、業界の現状、要望等を把握する。 ■後継者育成事業の充実 後継者育成支援(クラフトマンサポート事業)においては、平成29年度、雇用奨励金事業を新設。若手職人の業界への定着を目指す。 	
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成28年度		
事業	事業名	(事業18) 理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	<p>この事業は、市内外から優秀な人材を確保して、市内ものづくり産業への就業を促進させるとともに、中小製造事業者が抱える課題等の解決に関して、インキュベーター機能を含めた大学等の研究開発機関の立地を検討します。</p> <p>検討にあたっては、静岡商工会議所製造業部会等と連携を図り、地元製造業界におけるニーズの把握をはじめ、立地ビジョン等の作成を進めていきます。</p>		取組状況	H28.9.1 現在	<p>■地元製造業者に対する工学部シーズの紹介 静岡大学工学部等の持つシーズを地元製造業者に紹介する説明会の開催を検討。</p> <p>■高等教育のあり方の検討 静岡市立大学の設置可能性、また理工系大学・学部の新設・誘致を含め、本市における高等教育のあり方について今後検討することとする。</p>
				進捗率等	H28.9.1 現在	(%)
				補足事項	H29.3.31 現在	(%)
	成果目標	設置学科等に関する地元産業界におけるニーズを把握する		事業結果	<p>■地元製造業者に対する静岡大学工学部等のシーズ説明会の開催 静岡大学工学部等の持つシーズを地元製造業者に紹介する説明会を平成29年2月に市内で開催した。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
	産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■静岡商工会議所との連携の継続実施 地元製造業界におけるニーズの把握と実現に向けた検討については引き続き静岡商工会議所と連携しながら実施する。</p> <p>■地元製造業者に対する工学部シーズの紹介 地元製造業者に対する工学部シーズを紹介する説明会については引き続き実施する。</p>	
基本方針						
基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

事業 19-1	ものづくり基本計画	(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成28年度			
	事業名	(事業19) 職人の育成事業(市と伝統工芸界の連携事業) (事業19-1) 若手後継者の技術習得支援(伝統工芸技術保存講習会の開催)		予算額	1,890千円		
				決算見込額	1,759千円		
	事業概要	この事業は、漆器、蒔絵、拭漆、竹工芸、木工などの伝統工芸分野に関して、伝統工芸界が後継者の育成を図り、伝統工芸技術の保存伝承及び技術の研鑽を実施します。市においては、こうした伝統工芸界の活動を支援していきます。		取組状況 H28.9.1 現在	<p>■伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術練磨を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹干筋細工、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。</p> <p>①漆器の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間：平成28年5月10日(火)～9月27日(火) 18日間 受講生：蒔絵、漆器関連業界関係者9人</p> <p>②拭漆の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間：平成28年9月26日(月)～11月21日(月) 7日間 受講生：木工関連業界関係者5人程度(予定)</p> <p>③竹干筋細工の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(駿河竹干筋細工) 期間：平成28年10月4日(火)～12月13日(火) 11日間 受講生：竹業界後継者9人程度(予定)</p> <p>④木工指物の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間：平成28年6月30日(木)～12月8日(木) 17日間 受講生：木工家具関連業界関係者8人程度(予定)</p> <p>⑤蒔絵の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間：平成28年10月11日(火)～平成29年3月7日(火) 20日間 受講生：蒔絵、漆器関連業界関係者9人程度(予定)</p>		
		補足事項			H28.9.1 現在	(受講者数) 9人	30(%)
			H29.3.31 現在	(受講者数) 39人	130(%)		
	成果目標	受講生 30人以上/年 (漆器、蒔絵、木工、竹工芸、拭漆の5部門に関する講座)		事業結果	<p>■伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術練磨を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹干筋細工、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。</p> <p>①漆器の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間：平成28年5月10日(火)～9月27日(火) 20日間 受講生：蒔絵、漆器関連業界関係者9人</p> <p>②拭漆の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間：平成28年9月26日(月)～11月21日(月) 8日間 受講生：木工関連業界関係者8人</p> <p>③竹干筋細工の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(駿河竹干筋細工) 期間：平成28年10月4日(火)～12月13日(火) 11日間 受講生：竹業界後継者8人</p> <p>④木工指物の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間：平成28年6月30日(木)～12月8日(木) 17日間 受講生：木工家具関連業界関係者4人</p> <p>⑤蒔絵の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間：平成28年10月11日(火)～平成29年3月7日(火) 20日間 受講生：蒔絵、漆器関連業界関係者10人</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価		
		大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
		中施策	次代を担う多様な人材の育成				
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■若手職人ネットワークの構築 伝統工芸技術保存のための後継者育成に加え、クラフトマン サポート制度で研修中の若手にも引き続き参加を呼びかけていくことで業界内の若手ネットワーク構築を図る。 漆器講習会等では木工従事者にも参加を呼びかけ、引き続き木工業界と漆器業界の若手の交流を図っていく。 また技術を保持しながらも、家庭の事情等で一時製造から遠ざかっていた人材にも呼びかけ、後継者育成を確実化する。</p> <p>■作品展示会の開催 蒔絵の部等において作品展を開催するなどして、参加者の意欲を喚起していく。</p>			
	大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります					
	中施策	次代を担う多様な人材の育成					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

ものづくり基本計画		(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成28年度	
事業名	(事業19) 職人の育成事業(市と伝統工芸業界の連携事業) (事業19-2) 職人育成事業(クラフトマンサポート事業)	予算額		6,600千円	
		決算見込額		5,400千円	
事業概要	この事業は、伝統工芸分野への新規就業を促進するため、市の財政的支援のもとで、伝統工芸業界が率先して、短期及び長期の現場実習に取り組みます。また、ものづくりで生計を志す者への独立支援については、市が工房等の賃貸料を助成していきます。	取組状況	H28.9.1 現在	(1)地域産業現場実習短期支援者数 1名 (2)地域産業現場実習長期支援者数 4名 (3)地域産業独立支援補助金交付者数 2名	
				補足事項	進捗率等
H29.3.31 現在	(短期支援) 1人 (短期支援) 50.0 (長期支援) 4人 (長期支援) 200.0 (%) (独立支援) 2人 (独立支援) 200.0				
成果目標	制度活用者数(人) 短期支援2人/年、長期支援2人/年 独立支援1人/年 (各人数は		事業結果	(1)地域産業現場実習短期支援者数 1名 (2)地域産業現場実習長期支援者数 4名 (3)地域産業独立支援補助金交付者数 2名	
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針 商工・物流	大施策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
産業振興プラン位置付け	政策方針 商工・物流	大施策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	中施策 次代を担う多様な人材の育成		
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)		

事業 19-3	ものづくり基本計画	(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成28年度		
	事業名	(事業19) 職人の育成事業(市と伝統工芸業界の連携事業) (事業19-3) 若手職人の大学進学支援の検討		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	若手職人への教育については、市と伝統工芸業界が連携を図る中、地元の職人によって、本市の固有技術に関する教育を基本として実施します。 また、顧客ニーズに基づいて、商品の付加価値を高めるためには、熟練度の向上とともに、工芸、美術、造形をはじめ、デザイン力などの高度な専門知識が必要となります。 こうしたアカデミックな側面からの教育については、これまでの生産活動に異なる発想や技術等が加わり、新たな価値を生み出す生産活動への向上が期待されます。よって、若手職人が、高度な専門分野を学習できるように大学への進学に向けた支援を検討します。	取組状況	H28.9.1 現在	■首都圏大学の講師招聘による研修の模索 後継者である若手職人が首都圏の美術大学の講師に直接指導を受け、デザインや技術、流通の専門知識に触れてもらう場を提供するため、講師への協議を実施中。	
				進捗率等	H28.9.1 現在	産地内現状調査実施
			補足事項			H29.3.31 現在
	成果目標	他都市、他産地の事例を調査研究		事業結果	■業界ニーズの確認と首都圏美術大学への派遣依頼 前回調査で、具体的なニーズは確認されず、制度的にも困難であることが判明したため、首都圏の美術大学からの指導者の派遣を検討した。 ■大学教授による指導会の実施 武蔵野美術大学教授(デザイン)に来静してもらい、地元若手職人等を対象にトーク形式による指導会を実施し、研修の場を提供した(「ものづくり・相談支援事業」中での実施)。	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興プラン位置付け	基本方向		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	■職人等の大学進学は困難であることが判明しているため大学講師招聘による研修の場を設定した。今後は実際に他産地や他都市がそのような事業を実施しているかについての調査研究も行っていく。	
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成28年度	
事業名	(事業20) 高校生のインターンシップ事業	予算額		990千円	
		決算見込額		422千円	
事業概要	<p>この事業は、高校生が在学中に就業体験を行うインターンシップ制度の普及啓発に取り組みます。</p> <p>高校生の職業意識を高めるため、ジュニアインターンシップ受入可能事業所の新規開拓とともに、希望校(生徒)が実施期間や職種を選択できるよう充実した内容にしていきます。</p>	取組状況	H28.9.1現在	<p>■対象 市内高校に通う生徒</p> <p>■ジュニアインターンシップの既実施数 ①実施高校数 6校 ②実施生徒数 81人</p> <p>■受入事業所の新規開拓数 新規受入可能事業所数 15事業所</p> <p>■今後の予定 引き続きインターンシップ実施校のアフターフォローや受入可能事業所の新規開拓等を行っていく。</p> <p>※H28.10.31(中間報告)時点</p>	
		進捗率等	H28.9.1現在	実施生徒数 81人 ※H28.10.31(中間報告)時点 162(%)	
	補足事項		H29.3.31現在	実施生徒数 81人 162(%)	
成果目標	H27 50人/年 H28 50人/年 H29 50人/年 H30 50人/年 計		事業結果	<p>■ジュニアインターンシップ実施数 ①実施高校数 6校 ②実施生徒数 81人</p> <p>■受入事業所の新規開拓数 新規受入可能事業所数 35事業所</p> <p>■ジュニアインターンシップ実施の可否確認 市内高等学校全校(27校)</p> <p>■執行額 ジュニアインターンシップ推進業務委託料 421,200円</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	<p>政策方針 商工・物流分野</p> <p>大施策 4 次世代を担う優れた人材の育成と多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>中施策 2 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出</p>		事業評価	
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>目標人数50人を上回る結果となった。</p> <p>今後も、各校の実情、ニーズに沿った事業を展開し、高校生の地元就職、及び進学後のUターン就職に向けた種まきとして、より効果の高い方法を検討していく。</p>	
	基本方針				
	基本施策				
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他(特記事項)		

事業 21	ものづくり基本計画	(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成28年度			
	事業名	(事業21) ものづくり体験・学習機会の提供		予算額	5,927千円		
				決算見込額	5,923千円		
	事業概要	この事業は、広く市内の方々に対して、本市の伝統工芸の魅力を知ってもらうため、駿府匠宿の体験工房(駿河竹千筋細工、駿河和染、駿河指物など)への参加者増加の方策を検討します。 また、体験工房以外においても、伝統工芸を含む地場産業を幅広くPRするとともに、広く市内の方々に向けて学習機会を提供し、本市地場産業の周知と理解促進に努めます。		取組状況	H28.9.1 現在	■地場産品体験学習事業の実施 市内の小学校に通学する4年生が社会科事業の一環として、駿府匠宿で地場産品の創作体験をする場合、申請によりその利用に要する費用の一部を本市が支援している。(補助金額:児童1人につき1,740円を限度) 9月下旬以降に順次、創作体験を実施予定。	
		補足事項	「駿府匠宿」の体験工房における創作体験(駿河竹千筋細工、駿河和染、陶芸等)を通じて、本市地場産品を学習する機会を提供し、地場産品とものづくりに対する関心と理解を深めるとともに、次代を担う人材として伝統工芸業界への興味を喚起します。		進捗率等	H28.9.1 現在	駿府匠宿体験学習利用児童数 0人 0(%)
						H29.3.31 現在	駿府匠宿体験学習利用児童数 3,275人 90.9(%)
	成果目標	駿府匠宿体験学習利用児童数(人) 3,600人/年		事業結果	事業	■地場産品体験学習事業の実績 ・参加学校数:49校 ・利用児童数:3,275人 例年のとおり小学校の授業の一環として、駿府匠宿で地場産品の創作体験を実施し、子どもたちにもものづくりに対する関心と理解を深めることができた。	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	03 商工・物流				
		大施策	04 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
	産業振興プラン位置付け	中施策	01 次代を担う多様な人材の育成	評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	■事業利用の更なるPR ①4月に開催される校長会での事業説明において、竹組合の体験事業(国の制度)と共同PRを行い、利用率向上の相乗効果を図る。 ②追加の事業説明として、6月ごろに申込みのない小学校に対し、4年生の担当者宛てに再度通知を行い、事業の利用を促す。 ■段階的な伝統工芸業界への興味喚起 ①小学4年生の創作体験を伝統工芸業界に触れる契機とし、中学生、高校生等を対象に駿府匠宿における職場体験等を実施して、後継者育成に繋げる。 ■目標未達成の理由 当該事業の実施は、小学校の年間行事や予算等の影響が大きく、学校側の都合で年度により体験学習を実施する児童数が変動する。また体験学習当日に体調不良により欠席する児童も多く、申請と実績の人数に誤差が生じるため。 対象児童(市内小学校4年生)は減少傾向にあり、利用者確保も難しくなっている。	
政策方針		03 商工・物流					
大施策		04 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				